

# 心を豊かにする図書館 をめざして

平成19年度  
小平市立図書館事業概要

平成20年9月

小平市立図書館

## はじめに

小平市立図書館では、毎年、「心を豊かにする図書館をめざして」というタイトルで「小平市立図書館事業概要」を作成しております。より多くの方に図書館を利用していただくために、各種のサービスを展開しているところですが、これらのサービスを市民の方々に御理解いただき、図書館利用の一助としていただくために、今年も概要をとりまとめました。また、図書館と市民の方々との連携・協力を図る上でも、この事業概要は御活用いただけるのではないかと考えております。

おかげをもちまして、平成19年度は、前年度より貸出資料数が2万件ほど伸び、154万件となっております。2年連続で「図書館サービス計画」の目標数値150万件を超えているところです。貸出資料数がすべてではありませんが、数値が伸びるということは、市民の方々が図書館を御利用いただいている一つの目安であり、喜ばしいことだと考えております。

小平市立図書館では、図書館サービス以外にも、いろいろな事業を行っています。学校図書館の支援もその一つです。学校図書館相談員を配置するほか、平成18年度からは文部科学省の委託を受けて学校図書館支援センター業務を実施しております。平成19年度も引き続き、学校と図書館の資料の相互貸借をスムーズにする配送便を運行し、中学校8校に学校図書館協力員を配置しております。さらに学校図書館利用ガイドブックも作成し、各学校に配布したところです。

小平市立図書館では、地域の多くの課題を解決する図書館としても対応していきたいと考えております。平成19年度には、中央図書館に開放型の端末を置き、市民の方々にご利用をいただいております。また、花小金井図書館にはビジネス支援コーナーも開設し、ビジネス関係の図書を置くほか、関連するパンフレットなども配布いたしております。

今後も、「はいりやすく、親しみやすい図書館」、「簡単な手続きで利用できる図書館」「資料のそろっている図書館」という運営方針の下、様々な事業を展開してまいります。

平成20年9月

小平市中央図書館長

柄澤 俊彦

# 目次

はじめに	1
目次	2
<b>図書館事業体制</b>	
1 小平市図書館の開設	5
2 図書館配置図	5
3 施設概要	6
4 事務分掌	7
5 予算概要	9
<b>図書館事業計画（平成19年3月30日決定）</b>	
1 はじめに	10
2 教育目標における図書館の施策	10
3 主要事業の取組	11
4 この1年間の事業の取組	11
<b>この1年間の事業の成果</b>	
1 図書館協議会の開催	16
2 蔵書管理	17
3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出	19
4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出	20
5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化	21
6 レファレンスサービス	23
7 講座・講演会等の開催	24
8 展示会等の開催	26
9 児童サービス	26
10 小中学校との連携促進	28
11 障がい者・高齢者サービス	29
12 複写サービス	30
13 リクエストサービス	30
14 広域利用の実績	31
15 図書館関係団体に対する援助・連携	33
16 図書清掃の実施	34
17 施設の運営管理	34
18 職員研修及び施策形成参画機会の拡充	35
19 実習生及び職場体験学習等の受入れ	36
20 広報活動	37
21 図書館ボランティアの参加促進	38

## 各地区図書館の事業の成果

1 仲町図書館	39
2 花小金井図書館	40
3 小川西町図書館	41
4 喜平図書館	41
5 上宿図書館	43
6 津田図書館	44
7 大沼図書館	44

## 参考資料

資料1 平成19年度小平市立図書館事業統計	47
資料2 平成19年度小平市子ども文庫連絡協議会事業報告	79

## 表

【表1】小平市立図書館施設概要	6
【表2】小平市立図書館事務分掌	7
【表3】小平市立図書館当初予算概要	9
【表4】図書館協議会の審議案件	16
【表5】資料等補修・修理実績（中央図書館）	17
【表6】除籍件数	18
【表7】ブック・リサイクル事業の実績	18
【表8】所蔵資料数	21
【表9】地域資料の所蔵資料数	21
【表10】地域資料分類別受入資料数	21
【表11-1】レファレンス統計の推移	23
【表11-2】レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）	23
【表12】講演会・講座の内容	24
【表13】昔話講座の内容	25
【表14】読み聞かせ実践講座の内容	25
【表15】講演会内容	26
【表16】おはなし会の開催回数と参加人数	27
【表17】絵本のへやの開催回数と参加人数	27
【表18】リクエスト件数の推移	31
【表19】相互貸借の実績	32
【表20】図書清掃（消毒）の実施状況	34
【表21】集会室貸出推移	34
【表22】司書講習先及び期間	35
【表23】職場研修の内容	35
【表24】レファレンス研修の内容	36
【表25】図書館見学の受入れ実績	36
【表26】職場体験の受入れ実績	37
【表27】図書館ボランティア活動実績	38
【表28】仲町図書館の年間展示テーマ	39

【表29】 郵送貸出の推移	41
【表30-1】 小学校教科書の所蔵点数	41
【表30-2】 中学校教科書の所蔵点数	42
【表31】 喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ	42
【表32】 喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況	43
【表33】 ポスター等収集実績一覧	44
【表34】 大沼図書館の年間展示テーマ	45

図

【図1】 小平市内の図書館配置図	5
【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ	18
【図3】 蔵書数・貸出数の推移	19
【図4】 一般書分類別所蔵資料率	20
【図5】 児童書分類別所蔵資料率	20
【図6】 複写サービスの推移	30
【図7】 リクエスト件数の推移	31
【図8】 小平市立図書館の広域利用状況	32
【図9】 小平市民の広域利用状況	32

# 図書館事業体制

## 1 小平市図書館の開設

小平市図書館が誕生したのは、昭和50年5月でした。当時多摩地域には32の市町村がありましたが、小平市図書館はその中で23番目に52館目の図書館として開館しました。

小平市における図書の貸出は、昭和28年に都立立川図書館（現在の都立多摩図書館）の移動図書館「むらさき号」が市内3箇所を拠点にして貸出業務を行ったのが始まりと記録されています。

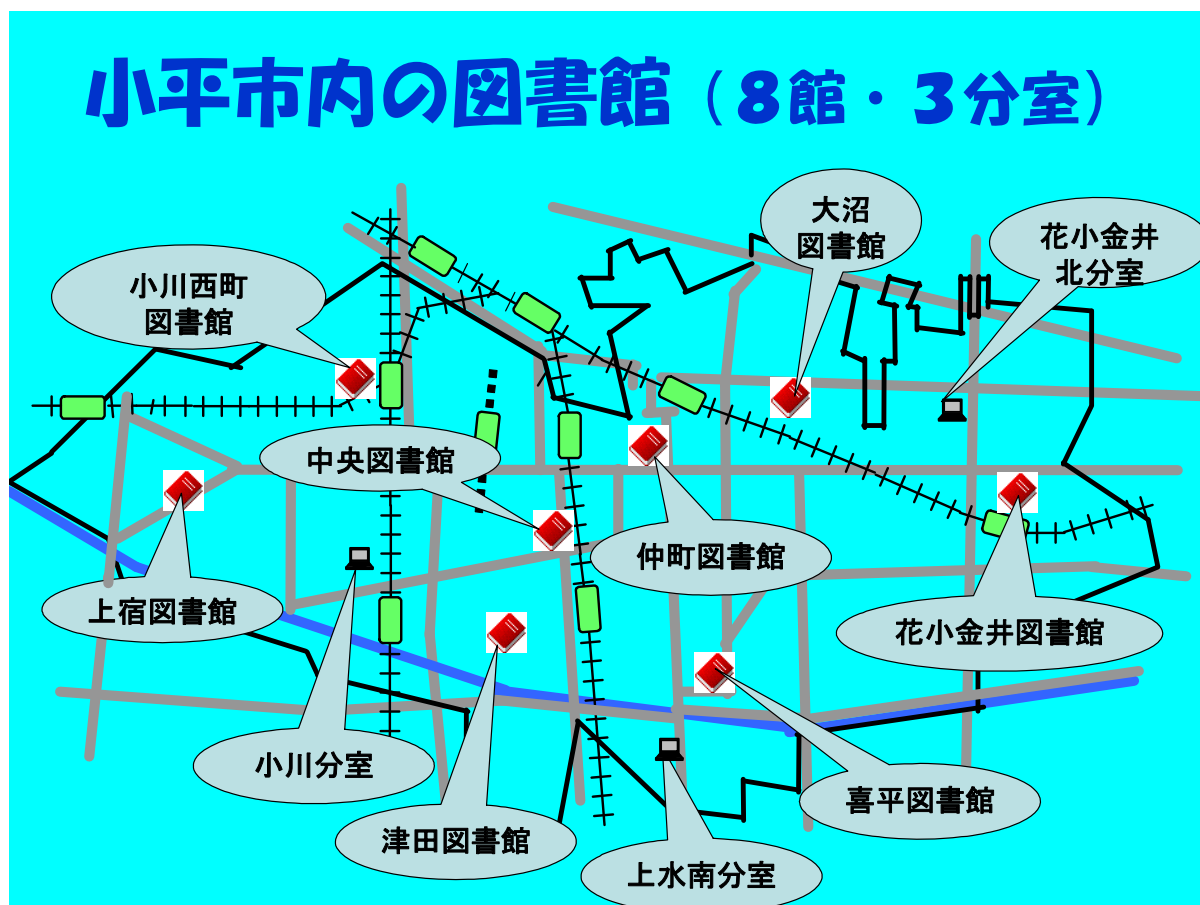
昭和39年から小平市公民館（現在の仲町公民館）に図書室が設けられ図書の貸出が始まりましたが、利用が増加し、図書館の必要性が強く認識されるようになり、昭和49年4月に図書館準備室が設けられ、昭和50年5月に現在の仲町図書館が、小平市第1号の図書館としてオープンしました。

さらに、地区図書館の設置とネットワークを形成することを「長期総合計画」で策定し、昭和54年から57年にかけて、毎年、4館の地区図書館を設置し、昭和60年に現在の中央図書館が開館しました。そして、昭和62年に地区図書館1館が開館しましたが、その後はしばらく期間が開き、平成13年に大沼図書館が開館しました。これにより、中央館1館、地区図書館7館、分室3館が整備され、「15分歩けば図書館が利用できる」図書館ネットワークが完成しました。

## 2 図書館配置図

【図1】 小平市内の図書館配置図

(平成19年4月1日現在)



### 3 施設概要

【表1】小平市立図書館施設概要

(平成19年4月1日現在)

(単位：㎡)

項目	中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館	
開館年月	S60.7	S50.5	S54.4 H18.5(移転)	S55.7	S56.6	S57.6	S62.7	H13.1	
床面積	延床面積	4,703.555	1,141.080	1,661.890	1,971.218	1,156.450	932.240	1,299.950	1,422.140
	地階	1,582.684	25.980	-	-	-	-	-	-
	1階	968.184	363.330	762.330	1,056.290	610.200	465.400	1,299.950	1,422.140
	2階	1,042.275	369.790	630.970	914.928	546.250	466.840	-	-
	3階	1,018.907	312.270	268.590	-	-	-	-	-
開架施設	延開架面積	1,543.984	505.450	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	一般開架室	1,301.250	197.160	479.490	543.091	506.650	388.330	409.740	434.340
	参考室	242.734	109.350	-	-	-	-	-	-
	児童室	-	198.940						
お話室	37.429	28.960	43.200	37.194	37.038	30.880	28.300	48.220	
閉架	閉架書庫	406.324	51.030	61.020	50.812	49.720	62.260	37.120	65.470
	古文書庫等	142.319	-	-	-	-	-	-	-
事務用施設	事務室	203.372	77.360	99.000	78.031	65.930	72.120	51.860	89.480
	会議室	66.591	48.780	-	-	-	-	-	-
	作業室	71.381	-	-	-	19.290	-	-	-
	職員休憩室	70.037	28.960	19.350	36.618	36.925	34.050	24.700	-
	応接室	22.678	-	-	-	(約5.63)	8.400	11.520	-
	更衣室	23.963	-	-	2.860	(約1.72)	1.640	-	-
	倉庫	116.452	-	12.000	-	28.425	17.650	-	9.260
共用施設	玄関	36.761	-	29.410	25.497	26.748	14.840	-	29.810
	便所	116.925	-	49.590	30.511	57.477	62.560	-	37.680
	エレベーター、階段、廊下	426.494	-	117.310	119.808	147.810	109.300	-	-
管理施設	機械室	439.317	95.690	17.680	16.838	9.084	8.000	24.320	-
	警備員室	-	-	-	-	3.000	3.200	-	-
	委託員控室	14.772	-	11.400	-	9.648	5.440	-	14.870
集会室	-	-	-	-	150.090	101.000	-	-	
その他	964.756	304.850	1.520	53.628	8.600	12.570	16.330	108.350	
図書館専有床面積	4,703.555	1,141.080	899.560	994.888	1,156.450	932.240	686.930	646.770	

図書館専有面積 総合計	11,161.473
----------------	------------

#### 4 事務分掌

【表2】 小平市立図書館事務分掌

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

庶務係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図書館の総合計画の企画・立案及び調整に関する事。</li> <li>○ 施設、設備及び備品の維持管理に関する事。</li> <li>○ 図書館職員の研修に関する事。</li> <li>○ 公印の管守に関する事。</li> <li>○ 図書館情報システムの開発、維持管理及び運用に関する事。</li> <li>○ 図書館サービスの利用統計及び調査に関する事。</li> <li>○ 図書館のPR及び広報に関する事。</li> <li>○ 多摩六都図書館協力事業の調整に関する事。</li> <li>○ 図書館実習生等の受入に関する事。</li> <li>○ 図書館協議会に関する事。</li> <li>○ 予算、決算、契約及び経理に関する事。</li> <li>○ 館内の文書及び物品の管理に関する事。</li> <li>○ 各係及び地区図書館の連絡調整に関する事。</li> <li>○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない事。</li> </ul>
サービス係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合カウンターのサービス及び運営に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の利用及び貸出に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の相互貸借及びリクエストに関する事。</li> <li>○ 児童サービスに関する事。</li> <li>○ 障がい者サービスに関する事。</li> <li>○ 図書館行事（講座、講演会、おはなし会、展示会等）の開催に関する事。</li> <li>○ 分室の運営に関する事。</li> <li>○ 関係機関との連絡及び調整に関する事。</li> <li>○ 学校図書館の支援に関する事。</li> <li>○ 市内の学校及び子ども文庫との連携に関する事。</li> <li>○ 図書館ボランティアに関する事。</li> <li>○ 子ども読書活動の推進に関する事。</li> <li>○ その他、館内他係及び地区図書館に属さない図書館サービスに関する事。</li> </ul>
資料係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 蔵書計画に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の発注及び受入並びに参考資料及び地域資料を除く図書館資料の選定、収集及び整理に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の維持管理、補修、除籍、廃棄及びリサイクルに関する事。</li> <li>○ 図書館資料の受贈及び受託に関する事。</li> <li>○ 開架及び閉架書庫の資料管理に関する事。</li> </ul>
調査係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参考室カウンターのサービス及び運営に関する事。</li> <li>○ 参考調査及び読書相談に関する事。</li> <li>○ 参考資料及び地域資料の選定、収集及び整理に関する事。</li> <li>○ 参考資料及び地域資料の維持管理、補修、除籍及び廃棄に関する事。</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別文庫に関する事。</li> <li>○ 古文書及び古書の受贈及び受託に関する事。</li> <li>○ 古文書及び古書の整理、調査、出版、展示等に関する事。</li> </ul>
地区図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査、統計及び広報に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の購入に係る資料作成に関する事。</li> <li>○ 施設、設備及び備品の維持管理に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の選定、収集、整理及び保存に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の利用及び貸出に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の廃棄に係る資料作成に関する事。</li> <li>○ 図書館資料の相互貸借に関する事。</li> <li>○ 読書会、講演会、おはなし会、鑑賞会、資料展示会、その他集会に関する事。</li> <li>○ 読書相談及び参考調査に関する事。</li> <li>○ 図書及び書架の整備に関する事。</li> <li>○ 公印の管守に関する事。</li> <li>○ 地区図書館内の文書及び物品管理に関する事。</li> <li>○ 集会室（喜平図書館、上宿図書館）の貸出に関する事。</li> <li>○ 地域資料に関する事。</li> </ul>

## 5 予算概要

【表3】 小平市立図書館当初予算概要

(単位：千円)

事業名		19年度	18年度	増減
図書館費合計		851,313	934,467	△83,154
図書館人件費		443,753	460,124	△16,371
中央	中央図書館運営管理事業	89,545	88,967	578
	図書館情報総合管理システム運営事業	36,863	36,592	271
	古文書の収集・整理・保存事業	4,749	7,679	△2,930
	地域資料の収集・整理・保存事業	599	608	△9
	障害者福祉推進事業	833	840	△7
	視聴覚事業	657	660	△3
	図書資料の収集事業	54,747	55,040	△293
	ホームページの更新	0	1,155	△1,155
	地域資料・情報の充実と情報発信	1,155	0	1,155
	レファレンス機能の充実	1,471	0	1,471
	学校図書館支援センター推進事業	4,409	0	4,409
合計		195,028	191,541	3,487
仲町	仲町図書館運営管理事業	27,504	26,880	624
	逐次刊行物及びタウン誌の収集・整理・保存事業	115	111	4
	合計	27,619	26,991	628
花小金井	東部市民センター施設管理事業	41,968	42,926	△958
	東部市民センター移転事業	0	71,290	△71,290
	花小金井図書館運営管理事業	11,380	11,512	△132
	合計	53,348	125,728	△72,380
小川西町	西部市民センター施設管理事業	21,289	21,233	56
	小川西町図書館運営管理事業	11,208	11,031	177
	障害者サービス事業	154	157	△3
	合計	32,651	32,421	230
喜平	喜平図書館運営管理事業	25,510	25,270	240
	郷土写真資料の収集・整理・保存事業	301	318	△17
	合計	25,811	25,588	223
上宿	上宿図書館運営管理事業	22,043	21,879	164
	新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業	1,239	1,232	7
	合計	23,282	23,111	171
津田	津田図書館・公民館施設管理事業	13,936	13,372	564
	津田図書館運営管理事業	10,892	10,725	167
	合計	24,828	24,097	731
大沼	大沼図書館・公民館施設管理事業	14,206	14,064	142
	大沼図書館運営管理事業	10,787	10,802	△15
	合計	24,993	24,866	127
事業費合計		407,560	474,343	△66,783

## 1 はじめに

図書館を巡る近年の国の動向としては、平成13年7月には文部科学省によって「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が示され、同年12月には「子どもの読書活動に関する法律」が、平成17年7月には「文字・活字文化振興法」が公布・施行されました。また、平成18年3月にはこれからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像―地域を支える情報拠点をめざして―」が報告され、これからの図書館サービスに求められる新たな視点が示されています。その要点は、「レファレンスサービスの充実と利用促進」「課題解決支援機能の充実」及び「紙媒体と電子媒体の組合せによるハイブリット図書館の整備」にあると言えます。

このような流れの中で、小平市としては平成18年3月に「小平市第三次長期総合計画―こいだいら21世紀構想・前期基本計画―」を策定し、平成18年度から10年間の行政計画を定めています。その中で、図書館サービスの基本方針を次のように位置づけています。

### 【前期基本計画における基本方針】

- (1) 市民や利用者にとっての便利で頼りになる新しい図書館サービスとして、図書資料や地域資料などの充実とともに、レファレンスサービスや児童サービスを、図書館の基幹的なサービスとして位置づけます。
- (2) さらに、情報技術を駆使した図書館の情報機能の充実や情報基盤の整備を促進するとともに、学校図書館との連携を進めます。
- (3) また仲町図書館については、近隣の仲町公民館との建て替え時期にあわせて施設の統合化を行い、情報技術により利用者の創造性をより高めていきます。
- (4) 今後、地域に関心が高まることが予想されるなかで、現存する貴重な資料を整備し、提供することにより、小平の市史の編さんを支援するなかで、貴重な歴史や文化を記録し、広く理解してもらうことが必要です。

さらに、今年度から行政評価システムの本格実施及び「小平市行財政再構築プラン」の実施という具体的な目標管理が開始されます。

以上のような動向を踏まえ、平成19年度の事業計画を次のとおり定めます。

## 2 教育目標における図書館の施策

教育委員会の教育目標における図書館関連の推進事項として次の施策を掲げ、生涯学習と文化の振興を図ります。

- (1) 資料・情報の提供
  - 図書資料の貸出及びサービス活動の拡充
  - 図書館資料の充実
  - レファレンス機能の充実
  - 情報基盤の整備
  - 学校図書館との連携促進
  - 学校図書館支援センター事業の推進
  - 図書館ボランティアの参加促進
  - 多摩六都図書館相互利用の推進
- (2) 学習・文化施設の整備・充実
  - 図書館施設の整備及び維持管理
- (3) 地域資料の収集・整理・保存・公開

- 古文書、新聞、写真
- 地域資料、行政資料

### 3 主要事業の取組

今年度の主要事業は、次のとおりといたします。

(1) から (3) は実施計画の主要事業、(4) は市長のマニフェスト関連事業、(5) は文部科学省の委託事業、(6) 及び(7) は前期基本計画関連事業です。

- (1) 地域の情報拠点として大きな役割を果たすために、地域資料・情報の充実と情報発信を進めます。
- (2) レファレンスの機能を高め充実させるために、オンラインデータベースの導入を図ります。
- (3) 子ども体験塾事業（多摩・島しょ子ども体験塾事業）を実施します。
- (4) 小中学校との連携を深め、学校図書館データ管理システムの運営を支援するために、学校図書館相談嘱託職員による巡回を実施します。
- (5) 学校図書館の支援を促進するために、「学校図書館支援センター推進事業（文部科学省委託事業）」を実施します。
- (6) 現在の図書館情報管理システムが本年10月にリース更新となるのに合わせ、環境整備とシステムの再構築を進め、インターネット開放端末の導入を図ります。
- (7) 仲町図書館建て替えのための検討を進めます。

### 4 この1年間の事業の取組

以上に掲げた主要事業を推進するとともに、図書館がより豊かで質の高いサービスを提供できるよう情報技術の積極的な活用を図り、「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」「資料が充実している図書館」の目標に沿って、多様化する市民ニーズに応えるために、次の具体的な事業を実施します。

#### (1) 図書館協議会の開催

図書館協議会（年6回開催）の意見を反映して、図書館サービスの向上を図ります。

#### (2) 蔵書管理

図書資料の購入、寄贈図書の受入、資料の除籍・廃棄、リサイクルを計画的に進め、的確な蔵書管理を行うとともに、利用者にとって魅力的で使いやすい書架づくりを行います。

- ① 図書の選書・発注・受入
- ② 蔵書データの整備
- ③ 図書の整理・補修
- ④ 除籍図書・寄贈図書のリサイクル
- ⑤ 未返却図書の督促（年10回）

#### (3) 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

市民の生涯学習の多様化、高度化する資料要求に応えるために、より新鮮で魅力のある資料のそろっている図書館を目指して、各館の収集分担に沿って新刊図書等の収集を行います。

#### (4) 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

多様な資料要求に応えるために、必要最低限の視聴覚資料収集・整理をし、中央図書館及び地区図書館でCDとカセットテープの貸出を行います。また、中央図書館では視聴覚資料の館内視

聴を行うとともに、利用の多いCDの書誌データの整備を行います。

- ① 映像資料（ビデオテープ、DVD）
- ② 音声資料（CD、カセットテープ）

#### （5）地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の郷土理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存を行います。また、地域資料のデジタル化を推進します。

- ① 地域資料
- ② 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成
- ③ 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理、保存、展示）
- ④ 市報及び市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等
- ⑤ 特別文庫
- ⑥ 古文書（「小平市史料集第30集」の発行）
- ⑦ 地域資料のデジタル化
- ⑧ 地域資料リンク集の充実

#### （6）レファレンスサービス

利用者の資料相談に対応するために、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンスサービスの充実を図ります。

- ① レファレンス資料の収集・整理・保存
- ② レファレンス事例のデジタル化の推進
- ③ インターネット開放端末の設置と運用（中央図書館に3台）
- ④ オンラインデータベースの提供（3件）
- ⑤ 行政情報サービス及び調査支援の研究

#### （7）講座・講演会等の開催

図書資料への理解を深めるために、アンケート等を参考にして児童文学講演会や講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行います。

- ① 児童文学講演会（年3回）・児童文学紀行講座の開催（年1回）
- ② 昔話講座の開催（年1回）
- ③ 読み聞かせ実践講座の実施（年1回）
- ④ ボランティア入門講座の開催（児童青少年向き・夏期）
- ⑤ おはなし学習会の実施（中央図書館・地区図書館で開催）
- ⑥ 子ども体験塾講演会の開催（平成19年度、年1回）

#### （8）展示会等の開催

児童文学に関する紀行写真展や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行います。

- ① 図書資料展示会の開催（年2回）
- ② 子ども体験塾絵本原画展の実施（年1回）
- ③ ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

## (9) 児童サービス

乳幼児から児童、青少年までを対象に、おはなし会などの本に親しむ機会の提供や絵本展示会を実施し、また、ブックリストの作成・配布を行います。

- ① 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4月～5月）等の実施
- ② 「小平市子ども読書活動推進計画」の推進
- ③ おはなし会の実施（全館・定例）
- ④ 絵本のへやの実施（全館・定例）
- ⑤ 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小中学校対象）
- ⑥ 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置
- ⑦ 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践
- ⑧ 子ども文庫への図書団体貸出

## (10) 小中学校との連携促進

図書館を活用した学習の支援と児童・生徒の読書活動促進のため、学校図書館システムの活用支援や、学校図書館との連携を進めます。

- ① 図書館見学・職場体験学習の受入れ
- ② 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援
- ③ 学校図書館との連携の強化
- ④ 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援
- ⑤ 学校図書館相談嘱託職員の巡回
- ⑥ 学校図書館支援センター推進事業の実施（平成18年度から3年間）

## (11) 障がい者・高齢者サービス

すべての人が利用しやすい図書館にするために、障がいのある方も利用できるような図書資料の提供と環境整備を進めます。

- ① 大活字本、点字図書の購入
- ② 布の絵本（さわる絵本）、拡大写本の作成、貸出及びPRの推進
- ③ 録音図書（カセットテープ等）の作成及び貸出
- ④ 対面朗読の実施（中央図書館）
- ⑤ 在宅障がい者への図書資料の郵便等による送付サービスの実施
- ⑥ 福祉講演会（小川西町図書館）
- ⑦ 障がいをもった児童・生徒に対する読み聞かせの実施
- ⑧ 点字図書目録（点字版）及び点訳絵本の作成
- ⑨ 障がい者宅配サービスの研究
- ⑩ 障がい者対象図書資料展示（小川西町図書館）
- ⑪ 障がい者、ボランティアとの連絡会の実施

## (12) 複写サービス

著作権法に基づいて図書館資料の複写サービスを行うとともに、集会室利用者のための複写サービスを行います。

- ① 図書資料の複写サービス
- ② 図書館集会室利用者への複写サービス（喜平図書館・上宿図書館）

### (13) リクエストサービス

利用者の多様な資料要求に迅速に対応し、資料・情報の提供に努めます。

- ① 所蔵図書の利用予約（貸出予約）
- ② 未所蔵図書の購入（リクエスト購入）
- ③ 相互利用による資料の貸借の促進

### (14) 広域利用の推進

都立図書館、多摩六都（小平市、東村山市、東久留米市、清瀬市、西東京市）を始め公立図書館との相互協力による利用サービスを推進します。

- ① 都立図書館及び多摩地区公立図書館との相互貸借の推進
- ② 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進
- ③ 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

### (15) 図書館関係団体に対する援助・連携

図書館の関係団体として活動している小平市子ども文庫連絡協議会等との連携を図り、幅広い図書館活動を推進します。

- ① 補助金の交付（小平市子ども文庫連絡協議会）
- ② 事業活動への協力及び共催事業の開催

### (16) 図書清掃の実施

資料保存対策の一環として返却図書等の清掃を行い、貴重な資料がより長く気持ちよく使えるように心掛けるとともに、効率的な排架を行うために清掃済みの資料を分類順に排列します。

- ① 中央図書館の図書清掃（週6回）
- ② 花小金井図書館の図書清掃（週4回）
- ③ 他の地区図書館の図書清掃（週3回）

### (17) 施設の運営管理

利用者の方々が気持ちよく安全に利用できるように、定期的に施設や設備の点検を行い、優先順位を決めて修繕計画を進めます。

- ① 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理
- ② 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）
- ③ 仲町図書館建て替えの検討

### (18) 職員研修及び施策形成参画機会の拡充

図書館職員としての専門知識と技術を習得し、より良い図書館サービスを実現するため、計画的に研修計画を立てて職場研修を実施するとともに、様々な研修に積極的に参加して知識や情報の共有を図ります。

- ① 司書資格取得講習会への派遣（3名）
- ② 全体研修会の開催（年4回）
- ③ 実務研修・各種研究会への参加
- ④ 各種職場研修の実施

### (19) 実習生及び職場体験学習等の受入れ

図書館活動に対する理解者を増やすとともに、将来の図書館活動を担い支援する人材の育成を

図るために、実習生及び職場体験学習等を受け入れます。

- ① 図書館実習生（大学生等）の受入れ
- ② 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

## （20）広報活動

図書館の活動内容を広く市民に伝え、より多くの人に図書館サービスを利用してもらうとともに、図書館への理解と関心を深めるために、広報活動を行います。

- ① 図書館だよりの発行（年2回）
- ② 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布
- ③ 新刊・新着図書案内の発行
- ④ 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）
- ⑤ 図書館ホームページの整備・活用
- ⑥ 夏休み家族一日図書館員の開催

## （21）図書館ボランティアの参加促進

図書館の活性化と地域コミュニティ活動の推進を図るために、世代を超えた交流の場を目指した図書館ボランティアの参加を促進します。



# この1年間の事業の成果

## 1 図書館協議会の開催

図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕について、館長に対し意見を述べる機関として、図書館法第14条第1項の規定により小平市立図書館条例第9条に設置を定めている諮問機関です。今年度の主な審議案件は、次のとおりです。

【表4】 図書館協議会の審議案件

回	開催日	審議案件等
1	平成19年 5月24日(木)	(1) 報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○小平市史料集第20集・29集の刊行について ○平成17年度図書館事業報告書について ○平成18年度図書館事業報告について ○平成19年度司書講習への職員派遣について ○平成19年度ブック・リサイクル事業について ○学校図書館支援センター推進事業について ○提言「創造性の高い仲町図書館の開設に向けて」について
2	平成19年 7月26日(木)	(1) 報告事項 ○職員の人事異動について ○図書館運営状況について ○図書館システムの更新と臨時休館について ○行財政再構築プランの検討とプロジェクトチームの設置について ○事務事業評価の取組について ○学校図書館支援センター推進事業について ○実習生の受入れについて (2) 小平市立図書館案内（パワーポイント）試写 中央図書館施設見学
3	平成19年 9月27日(木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○小平市立図書館インターネット端末利用要綱について ○小平市子ども読書活動推進計画について ○臨時休館について ○図書館情報総合管理システムの更新について ○実習生の受入れについて ○市議会9月定例会について ○ブック・リサイクル事業について
4	平成19年 11月8日(木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○平成18年度決算特別委員会について ○教育委員の就任について ○図書館情報総合管理システムの更新について (2) 図書館サービスについて

5	平成 20 年 1 月 24 日 (木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会 1 2 月 定例会について ○ふるさと新聞元旦号展について ○学校図書館支援センター推進事業について ○小平図書館友の会からの寄贈について
6	平成 20 年 3 月 27 日 (木)	(1) 報告事項 ○図書館運営状況について ○市議会 3 月 定例会について ○小平市子ども読書活動推進計画について ○学校図書館支援センター推進事業について ○ビジネス支援コーナーの設置について ○小平市史料集第 3 0 集の刊行について ○小平市に関する新聞記事検索について ○ブック・リサイクル実施状況について ○危機管理マニュアルについて (2) 協議事項 ○平成 2 0 年度小平市立図書館事業計画 (案) について ○平成 2 0 年度小平市図書館協議会日程 (案) について

## 2 蔵書管理

### (1) 図書を選書・発注・受入

児童・一般の各館担当者が、日々、さまざまなメディアの出版情報をもとに、選書を行います。また、新刊本については週 1 度、選書会議を行っています。

現在、小平市図書館の資料は、(株)図書館流通センター、小平書店会、紀伊国屋書店及び直販店から購入し、発注から装備納品まで 1 週間程度と、スピーディな受け入れに努めています。

### (2) 蔵書データの整備

現在の書誌データ(資料の書名・著者名・出版社などの目録上の記録)には、一部書名・著者名等がひらがなやカタカナ表記になっているものがあり、同一書誌が重複して登録されているものがあるため、それらを随時訂正及び統合して書誌データの整備を進めました。

また、簡易な書誌データは、より詳細で検索しやすいデータに訂正しました。

### (3) 図書の整理・修理

長期にわたる保存や頻繁に行われる貸出や交換便による移動等により、新しい資料等であっても経年劣化し、汚損・破損を受けるものが多いが目立ちます。

新規に買い替えの他、絶版等により新規購入ができないもの等について、手作業で補修・修理等を施して資料の確保・保存・貸出に対応しました。

修理の一部は、図書館ボランティアが行いました。

【表 5】 資料等補修・修理実績(中央図書館)

内 訳	件 数
ボランティア	1, 275
資 料 係	2, 917
合 計	4, 192

(4) 除籍資料・寄贈図書のリサイクル

① 除籍資料

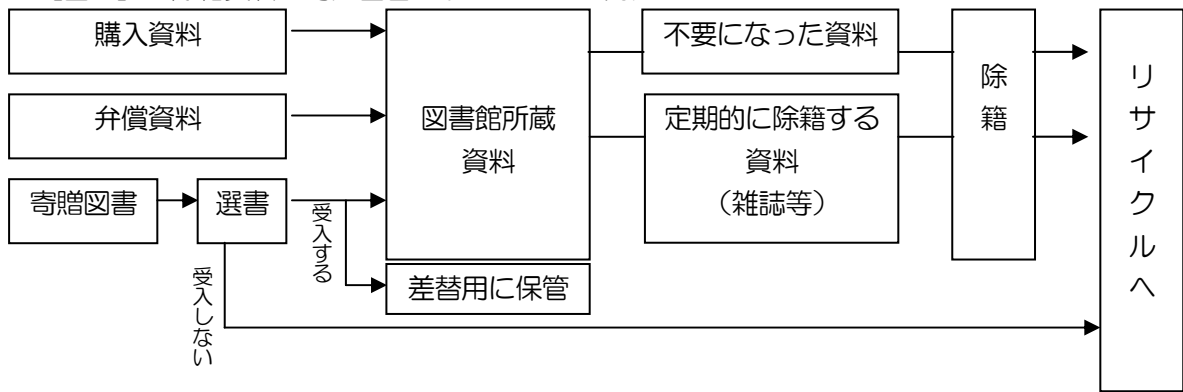
図書や雑誌、CD等の図書館資料はさまざまな理由で壊れたり汚れたり、内容が古くなって使えなくなってしまうことがあります。また、貸出や交換便による移動等によって、徐々に傷んでいくため、資料の状態に応じて除籍・廃棄していく必要があります。また、書架の収容能力にも限界があるため、随時資料の点検と再評価を行って、計画的な除籍・廃棄を行っています。

② 寄贈図書の受入れとリサイクル

寄贈図書のうち平成19年度に図書館資料として受け入れたのは、3,836冊です。

図書館資料として受け入れなかった寄贈図書は、各館で随時リサイクル資料として市民に提供しています。

【図2】 除籍資料・寄贈図書のリサイクルの流れ



【表6】 除籍件数

除籍の内訳	件数
複本・不要	33,092
亡失	2,537
汚損・破損	1,307
紛失	154
合計	37,090

③ ブック・リサイクル事業

ブック・リサイクル事業は3回実施し、除籍資料の内複本・不要除籍の資料を提供しました。提供した資料の合計は28,832冊でした。

この事業によって、図書館が所蔵する資料を絶えず更新し、書架スペースの確保に努め、効率的な蔵書管理を図りました。さらに、リサイクルという時代の要請に応え、資源の有効活用を目指しています。

【表7】 ブック・リサイクル事業の実績

開催日	対象	提供した冊数
平成19年10月27日(土)	一般書・文学書	10,918冊
平成20年1月19日(土)	雑誌・週刊誌	11,837冊
平成20年2月16日(土)	一般書・文学書	7,514冊
合計		30,269冊

### (5) 未返却図書の督促（年10回）

借用者に対する未返却図書返却のお願いを、1月と蔵書点検を実施した10月を除いて年10回、計7,080件発送しました。

長期延滞者とリクエスト資料の延滞者に対しては電話による督促を行いました。

貸出時に未返却資料のある方に対しては、随時督促を行いました。

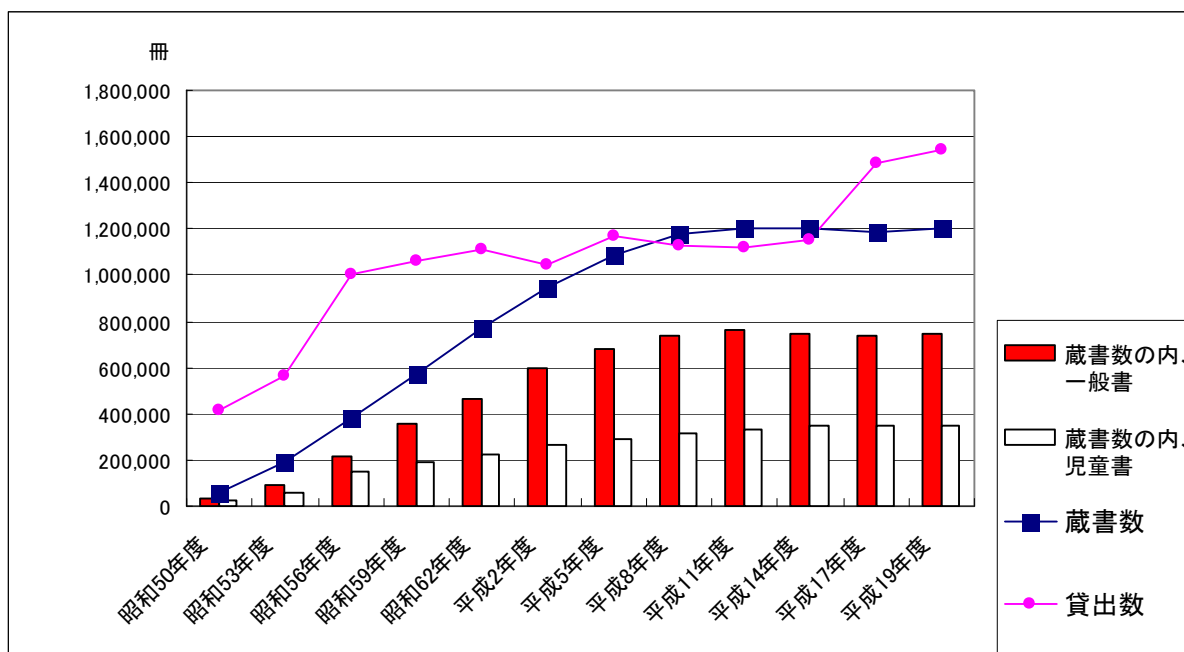
## 3 図書資料等の収集・整理・保存・貸出

### (1) 資料収集と蔵書構成

小平市立図書館の開館以来の基本方針として「資料のそろっている図書館」を目指して運営しており、「小平市立図書館サービス計画」の基本方針に沿って、豊かで質の高いサービスを提供するために資料・情報の充実に努めました。

しかし、図3に見るように平成11年度には蔵書数が120万冊となり、収容能力が限界に到達しています。このため、平成13年度以降ブック・リサイクルを実施し、蔵書冊数の調整を行っています。また、昭和50年度の開館当初は児童書が全蔵書の47.2%を占め一般書とほぼ肩を並べていましたが、昭和62年度には一般書の半分以上となり、平成19年度は全蔵書の29%を構成しています。

【図3】 蔵書数・貸出数の推移



また、図5及び図6を見ると一般書と児童書の蔵書構成の違いが現れています。一般書は、文学が36.7%を占め、産業が1.8%と少ないですが、それ以外は3%~11%の間となっています。これに対し児童書は、文学と絵本で全体の72.8%を占め、次に多いのが自然科学で8.4%です。その他は4%以下で、哲学・宗教、家事、語学、紙芝居の5分野は1%以下となっています。

### (2) 雑誌

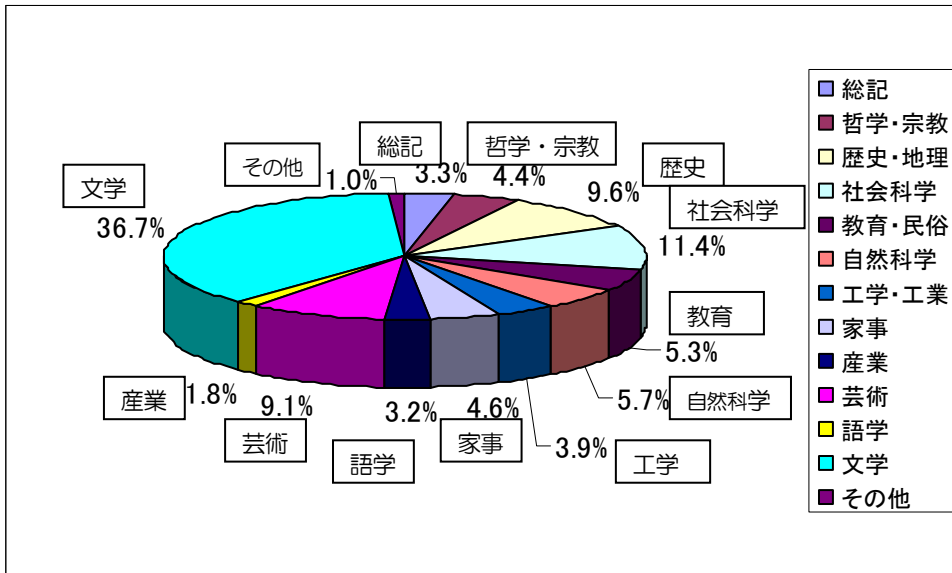
① 原則としてタイトル数の増加はせず、複本で所蔵があるもの、休刊・廃刊等になったものを中心に見直しを行いました。平成19年度からの購入中止雑誌は3誌、休刊・廃刊雑誌は13誌、新規購入雑誌は5誌となりました。

② 中央図書館の参考室には、データ登録をしていないものの、受入・整理している寄贈雑誌が95誌あり、特別貸出で対応しています。

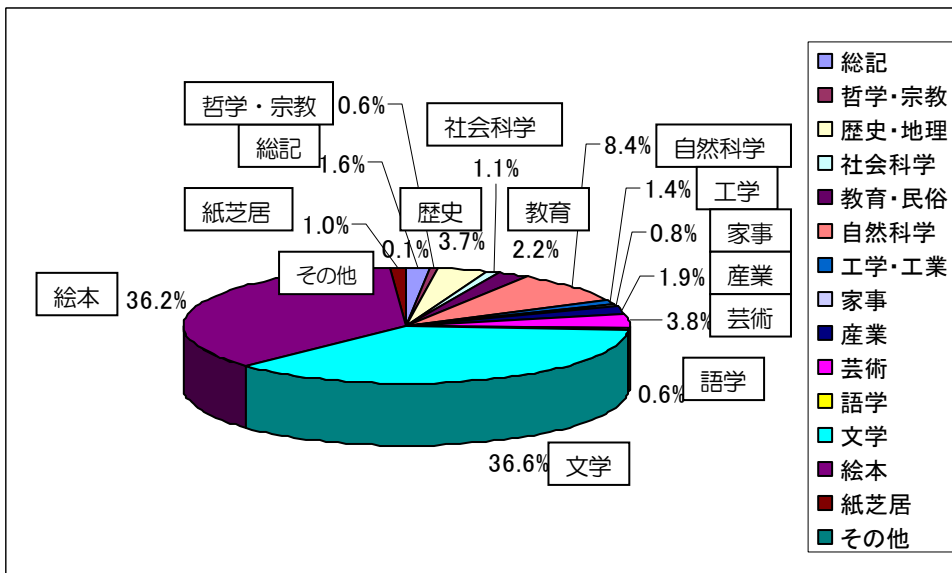
(3) 新聞

主要6紙は市内8図書館で所蔵し、縮刷版は各館で分担収集しています。

【図4】 一般書分類別所蔵資料率



【図5】 児童書分類別所蔵資料率



4 視聴覚資料の収集・整理・保存・貸出

(1) 映像資料 (ビデオテープ・DVD)

- ① 映画・教養 (記録)・児童等の各ジャンルより選定し、DVD61点、ビデオテープ (VT) 29点をMARC (コンピュータで処理可能な形式の目録)・装備付で購入しました。これらはすべて館内・館外貸出の著作権許諾済みのものです。
- ② 館内利用はDVD1,029点、レーザーディスク (LD) 777点、VT1,720点でした。

(2) 音声資料（コンパクトディスク（CD）・カセットテープ）

- ① ポピュラー（邦楽・洋楽）・クラシック・児童・朗読・演歌・学芸・教養等の各ジャンルより選定し、CD222点、カセットテープ23点を購入しました（うちカセットテープは点訳サークルボランティアによる点字シールの貼付）。
- ② 朗読CDは、素納品購入のため自館装備をし、それ以外はMARC・装備付で購入しています。

5 地域資料等の収集・整理・保存及びデジタル化

市民の郷土理解を深めるために、地域に関する資料及び古文書の収集、整理、記録及び保存を行います。また、地域資料のデジタル化を推進しました。

地域資料は、「図書館サービス計画」の「図書以外の資料収集分担表」に従い、全館で分担収集しています。平成19年度末の所蔵資料の点数は次のとおりです。

【表8】 所蔵資料数 (平成20年3月31日現在)

館名	資料名	開始年月	資料数
全館	地域資料（地図・行政資料を含む）	昭和50年4月	59,233
中央図書館	特別文庫	昭和60年7月	21,049
	古文書	昭和50年9月	27,305
仲町図書館	タウン誌・地域情報誌	昭和61年1月	5,387
花小金井図書館	地域の広告、チラシ	昭和54年4月	54,000
喜平図書館	郷土写真（定点写真5,328点を含む）	昭和53年7月	55,214
	郷土写真のデジタル化	平成14年4月	11,301
上宿図書館	地域の新聞記事切り抜き	昭和52年2月	41,901
津田図書館	地域のポスター	昭和63年3月	4,706
大沼図書館	市内在住著作者資料	昭和60年7月	2,481
合計			282,577

(1) 地域資料

地域資料の所蔵資料数は59,233冊で、前年度と比べて279冊の増となりました。その内訳は購入523冊、寄贈1,408冊、小平市立図書館刊行物177冊です。また、複本や合冊製本によって除籍した資料数は1,829冊です。

【表9】 地域資料の所蔵資料数

年度	受入資料数	除籍資料数	資料総数
平成18年度	2,668冊	488冊	58,954冊
平成19年度	2,108冊	1,829冊	59,233冊

【表10】 地域資料分類別受入資料数

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
A 総記	257冊	I 財政	144冊	O 教育	91冊	U 公害・災害	69冊
B 歴史	167冊	J 経済	8冊	P 文化施設	97冊	V 産業	58冊
D 地理	323冊	K 統計	57冊	Q 自然科学	11冊	W 交通・運輸	54冊
E 民俗	47冊	L 社会	144冊	R 土木・建築	28冊	Y 文学・芸術	49冊
F 議会	100冊	M 労働	35冊	S 都市施設	53冊	Z 特別コレクション	17冊
G 行政	137冊	N 福祉	110冊	T 保健衛生	52冊	合計	2,108冊

(2) 小平市及び図書館の関係新聞記事の切り抜き、整理、複写、製本、索引作成

小平の地域や図書館に関する新聞記事の切り抜きは、昭和52年2月に小平市図書館で開始し、昭和54年4月からは花小金井図書館が、平成16年4月からは上宿図書館が引き継いでいます。

上宿図書館では、原紙の新聞記事を切り抜き、台紙に貼ったものを製本しています。製本した切り抜きは現在169冊、約54,000点の記事を収録しています。また記事索引の作成も併せて行っています。

平成19年度の小平市及び図書館関係記事の収集件数は、1,901件でした。

(3) 郷土写真（写真資料のデジタル化、市内定点撮影、古写真の整理・保存・展示）

郷土写真事業は、昭和52年8月に開催した郷土写真展を契機に、昭和53年7月に開始しています。昭和56年6月からは喜平図書館、平成16年4月からは上宿図書館が担当しています。定点撮影、テーマ別撮影、秘書広報課から移管した写真の合計は、現在55,214点です。

① 上宿図書館で行っている定点撮影は、秘書広報課から寄託されたポイント写真（昭和57年撮影）520か所626枚について、平成18年度から5年計画で撮影をしています。また、図書館定点撮影96か所については、平成23年度から撮影を再開する予定です。

② 郷土写真のデジタル化は喜平図書館で行っており、平成19年度は3,043点のデータ入力が行われ、現在約11,301点のデジタル化が完了しています。

(4) 市報及び市内関係リーフレット、パンフレット、ポスター等

ポスター収集事業は、昭和63年3月から津田図書館で開始したもので、今年度は451枚を新規に収集、整理し、現在4,706枚のポスターを収蔵しています。

新聞の折込広告（チラシ）の収集は、地域や時代を伝える資料として有効です。

昭和54年4月から花小金井図書館で収集をしています。今年度は新たに約2,000枚の広告を収集、整理しています。

広告は「小平市リーフレット分類表」に従って分類整理し、『小平市リーフレット（広告）』として製本しています。平成18年までに製本された268冊の冊子は中央図書館で保存・提供しています。

(5) 特別文庫

中央図書館で所蔵する特別文庫としては、久下司氏旧蔵書の久下文庫と伊藤好一氏旧蔵書の伊藤文庫があります。

① 久下文庫

昭和58年から平成3年にかけて調査を行い、『久下文庫所蔵目録Ⅰ～Ⅳ』を刊行しています。収録数は、図書6,161冊、雑誌3,335冊です。昭和60年の中央図書館開館に伴い特別文庫室に収蔵され、昭和63年に図書館に寄託されました。久下司氏は平成7年に亡くなられ、全蔵書が寄贈されました。和漢書の貴重書及び貴重書に準じるものについては、『久下文庫和漢書目録』、『久下文庫和漢書目録 続編』を刊行しています。

② 伊藤文庫

伊藤文庫は、『小平町誌』の編さんに尽力され、近世史の研究にも大きな功績を残された伊藤好一氏の旧蔵書で、平成11年に当館に寄贈されたものです。この貴重な蔵書は、平成13年から16年にかけて関東近世史研究会によって整理され、図書8,273冊、雑誌3,280冊のカード目録が作成されました。

平成19年度には、この資料を中央図書館内で閲覧できるように整備しました。

(6) 古文書（「小平市史料集第30集」の発行）

古文書の整理事業としては、現在までに26家、27,305点の資料の整理が終了しています。昭和54年から平成4年までに19冊の古文書目録を発行しました。平成5年からは史料集の編集発行に取り組み、平成19年度は、『小平市史料集第30集 交通・運輸』を刊行しました。

(7) 地域資料のデジタル化

- ① 小平市及び図書館の関係新聞記事の記事索引のデジタル化を進め、昭和52年から平成14年12月まで、平成20年3月から図書館ホームページで記事検索ができるようになりました。
- ② 昭和56年4月から「市報こだいら」に掲載されている図書館資料の紹介コラム「図書アラカルト」のデジタル化を行い、おもに児童図書編を図書館ホームページで公開しました。図書名にWeb-OPACへのリンクを設定し、資料状況の確認がすぐ出来るように工夫してあります。

(8) 地域資料リンク集の充実

- ① 平成19年7月、リンク集に小平市活動団体の項目を追加しました。
- ② 平成20年1月には、リンク集の更新を行い、現存しないウェブサイトの削除、アドレス修正などを行いました。

## 6 レファレンスサービス

利用者の資料相談に対応するために、各種辞典、事典、目録、索引、年鑑、統計書、法規類集及び文献等の参考図書を整備し、レファレンスサービスの充実を図りました。また、中央図書館参考資料室にはインターネット検索のできるパソコンを設置しました。

(1) レファレンス業務の充実

- ① 平成17年度から市内全図書館でレファレンスの受付件数を記録しています。所蔵調査等を記録することが定着したことから、平成19年度は前年度に比べ数値は約40%増加しました。
- ② 職員のレファレンス研修を行い、レファレンス業務の向上を図りました。

【表11-1】レファレンス統計の推移

年 度	中 央		地区館		合 計		全合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成15年度	4,701	411	—	—	4,701	411	5,112
平成16年度	7,781	594	—	—	7,781	594	8,375
平成17年度	15,984	775	15,425	268	31,409	1,043	32,452
平成18年度	8,381	316	15,439	143	23,820	459	24,279
平成19年度	11,201	83	22,522	144	33,723	227	33,950

【表11-2】レファレンス記録票件数の推移（記録票に記入された事例件数）

年 度	中 央		地区館		合 計		全合計
	所蔵	参考	所蔵	参考	所蔵	参考	
平成15年度	110	86	—	—	110	86	196
平成16年度	102	78	—	—	102	78	180
平成17年度	140	64	129	3	269	67	336
平成18年度	178	52	11	0	189	52	241
平成19年度	96	52	11	12	107	64	171



(2) レファレンス資料の収集・整理・保存

- ① 今年度は白書、新聞縮刷版などの継続資料や買い替え資料を中心に 308 冊を購入、寄贈本からは参考資料として活用できるものを 120 冊受入れました。
- ② 中央図書館参考室の整備を行うため、統計や内容情報の古い資料については、書庫へ配置換えを行い、参考室内の資料を更新するとともに書架整理を行いました。

(3) レファレンス事例のデジタル化の推進

小平市立図書館の参考業務のなかで実際に調査した「小平に関する地域関係レファレンス」事例約 20 点について、平成 20 年度の図書館ホームページでの公開に向けて、資料・内容の確認作業を進めました。

(4) インターネット開放端末の設置と運用（中央図書館に 3 台）

- ① 平成 19 年 4 月から、中央図書館参考資料室にインターネット端末 2 台と商用データベースを検索できるパソコン 1 台を設置しました。インターネット端末利用案内等のパンフレットを作成し、配布するとともに、館内掲示を行い、利用者への周知を図りました。
- ② 平成 19 年度のインターネット端末 2 台の年間利用件数は 1,855 件、商用データベース端末の利用は 79 件ありました。

(5) オンラインデータベースの提供（3 件）

商用データベースの導入は、朝日新聞記事データベース「聞蔵Ⅱビジュアル」（朝日新聞）、法情報総合データベース（第一法規）、「官報情報検索サービス」（国立印刷局）の 3 種が検索でき、複写サービスも提供できるようになりました。

(6) 行政情報サービス及び調査支援の研究

判例・法律情報など、市役所職員に向けての資料や情報提供方法について検討を行いました。

## 7 講座・講演会等の開催

図書資料への理解を深めるために、講演会実施時のアンケート等を参考にして児童文学講演会・講座などを実施するとともに、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座・学習会を行いました。

(1) 児童文学講演会（年 3 回）・児童文学紀行講座の開催（年 1 回）

児童文学や絵本に関する講演会・講座のほか、子ども科学講演会、大人対象のおはなし会を市内各図書館で開催しました。

【表 12】講演会・講座の内容

開催日	講演会・講座名	対象・参加人数
平成 19 年 10 月 27 日	児童文学講演会「イギリス児童文学の旅『ピーターパンとケンジントン公園』」（池田正孝氏）	一般・40 人 （津田図書館）
平成 20 年 1 月 15 日	児童文学講演会「子どもとのふれあい方」（中川享子氏）	一般・17 人 （花小金井図書館）
平成 20 年 2 月 27 日	児童文学講演会「インド世界から子育てと教育を考える」（金田卓也氏）	一般・43 人 （喜平図書館）

平成 19 年 9 月 27 日 平成 19 年 10 月 4 日	児童文学紀行講座「絵本で旅するイギリス」(全 2 回)	一般・延べ 105 人 (中央図書館)
平成 20 年 3 月 25 日	子ども科学講演会「からだのしくみ探検～ほねはどうやって動くのだろう～」 (平井崇子氏)	小学生とその家族 47 人 (中央図書館)
平成 19 年 6 月 28 日	大人のためのおはなし会 (第 1 回)	一般・18 人 (小川西町図書館)
平成 19 年 11 月 1 日	大人のためのおはなし会 (第 2 回)	一般・11 人 (仲町図書館)

## (2) 昔話講座の開催 (年 1 回)

全 3 回の昔話連続講座「『マザーグース』の世界をのぞく」では、謎に満ちた「マザーグース」の世界を取り上げました。

【表 1 3】昔話講座の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成 20 年 2 月 16 日 平成 20 年 2 月 23 日 平成 20 年 3 月 1 日	「マザーグースって何だろう」 「マザーグースは生きている」 「マザーグースには謎がいっぱい」	一般・延べ 150 人 (中央図書館)

## (3) 読み聞かせ実践講座の実施 (年 1 回・中央図書館)

小学校などで子どもたちに読み聞かせをしている方、これから実演の予定のある方を対象に開催しました。

【表 1 4】読み聞かせ実践講座の内容

開催日	講座名	対象・参加人数
平成 19 年 5 月 24 日 平成 19 年 5 月 31 日 平成 19 年 6 月 7 日	読み聞かせ実践講座 (全 3 回)	小学校などで絵本の読み聞かせをしている方・延べ 78 人

## (4) ボランティア入門講座の開催 (児童青少年向き・夏期)

小学校 5 年生から大学生までを対象に、中央図書館で「夏休み図書館ボランティア体験講座」を開催しました。今年で 4 回目の開催で、小学生から大学生までの 17 人が参加し、説明会を含めて 10 回の講座に延べ 73 人が参加しました。内容は、児童図書のパ架、おはなし会のおみやげ作り、ポスターの作成、児童向けおはなし会の誘導等で、作成した「おはなし会」の案内ポスターは、児童コーナーに展示しました。

## (5) おはなし学習会の実施 (中央図書館・地区図書館で開催)

質の高いおはなし会を実施するために、図書館の児童担当職員と小平市子ども文庫連絡協議会のおはなし担当者を対象に「おはなし(ストーリーテリング)」を実演し、専門講師の指導を受ける学習会を開催しました。開催回数は 8 回で、延べ 239 人が参加しました。また、ベテランの担当者のアドバイスによる「おはなし自主学習会」を 24 回実施し、おはなし会で絵本の「読み聞かせ」を担当する職員全員が学習できる機会を設け、より専門性の高いサービスに努めました。自主学習会の参加者は、延べ 330 人です。

(6) 子ども体験塾講演会の開催（平成 19 年度、年 1 回 中央図書館）

多摩・島しょ子ども体験塾事業として、「絵本と私」と題して、絵本作家のさとうわきこ氏の講演会を開催しました。

【表 15】講演会内容

開催日	講演会名	対象・参加人数
平成 19 年 11 月 25 日	多摩・島しょ子ども体験塾事業 「さとうわきこ講演会」	一般・86 人

## 8 展示会等の開催

児童文学に関する紀行写真展や絵本原画展等の本に親しむ機会の提供、全国の新聞を集めた新聞展等を行いました。

(1) 図書資料展示会の開催（年 2 回）

今年度は 1 回でしたが、児童文学ゆかりの土地を訪ねた「ピーターパンとケンジントン公園」の写真展を、中央図書館 2 階展示コーナーで開催しました。これに併せ、関連図書の展示と児童文学講演会も行いました。

(2) 子ども体験塾絵本原画展の実施（年 1 回）

多摩・島しょ子ども体験塾事業として、講演会と併せ、絵本原画展「どろんこおそうじ」を中央図書館 2 階展示室・展示コーナーで開催しました。期間は、平成 19 年 1 月 17 日（土）から 1 月 26 日（月）までで、来場者は、485 人（子ども 121 人・大人 364 人）でした。

【展示作品】

「どろんこおそうじーばあちゃんのおはなし」福音館書店（1986）の原画 18 点  
「ねずみのなるき」こずえ（1977）の原画 18 点

(3) ふるさとの新聞元旦号展（中央図書館、大沼図書館）

地方新聞社の元旦号の新聞の提供を全国の新聞社に依頼し、63 紙の寄贈を受けて展示を行いました。また期間中、地方出版物の展示・貸出も併せて行いました。中央図書館では、平成 20 年 1 月 5 日（土）から 1 月 16 日（水）まで、大沼図書館では、1 月 19 日（土）から 1 月 24 日（木）まで開催しました。

## 9 児童サービス

(1) 子ども読書活動の推進に関する啓発事業「こだいら子ども読書月間」（4 月～5 月）等の実施

「こだいら子ども読書月間」として、4 月 1 日（日）から 5 月 6 日（日）まで、市内全図書館で 14 件の「子ども読書の日」に関する事業を開催しました。内容としては、児童図書の展示、絵本の読み聞かせ、親と子の土曜絵本ひろば、こども読書相談、バリアフリー絵本の展示などです。

(2) 「小平市子ども読書活動推進計画」の推進

学校、地域、図書館等が協力して、子どもが本に親しみ、心豊かな子ども時代を過ごせるよう策定された「小平市子ども読書活動推進計画」の中で、市内の小中学校で学校図書館蔵書管理システムを活用した図書館運営が始まっています。平成 18 年 4 月から、学校図書館相談員が小中学校を巡回して、図書検索・叢書の点検作業などの業務の相談に応じ、連絡を受けた中央図書館の司書のアドバイスも行われています。

(3) おはなし会の実施（全館・定例）

児童を対象に4歳から1年生、小学生と2回に分け、おはなし（ストーリーテリング）と絵本の読み聞かせを行っています。

【表16】おはなし会の開催回数と参加人数

館名	4歳から1年生		小学生		合計	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
中央図書館	49回	1,164人	49回	322人	98回	1,486人
仲町図書館	23回	143人	23回	116人	46回	259人
花小金井図書館	23回	333人	23回	174人	46回	507人
小川西町図書館	23回	223人	23回	167人	46回	390人
喜平図書館	23回	330人	23回	248人	46回	578人
上宿図書館	23回	286人	23回	136人	46回	422人
津田図書館	23回	242人	23回	116人	46回	358人
大沼図書館	23回	176人	23回	189人	46回	365人
合計	210回	2,897人	210回	1,468人	420回	4,365人

(4) 絵本のへや

手遊び、わらべうたなども取り入れ、主に2・3歳児とその保護者を対象に実施しています。今年度は、延べ96回開催し、1,554人の参加者がありました。この「絵本のへや」は、乳幼児への読み聞かせと絵本の紹介の場所であると同時に、母親たちの仲間づくり、情報交換の場としての役割も果たしています。また、3～4か月児健診時にも紹介し、参加を呼びかけています。

【表17】絵本のへやの開催回数と参加人数

館名	開催回数	幼児参加人数	大人参加人数	合計
中央図書館	12回	149人	148人	297人
仲町図書館	12回	26人	28人	54人
花小金井図書館	12回	112人	104人	216人
小川西町図書館	12回	60人	60人	120人
喜平図書館	12回	202人	190人	392人
上宿図書館	12回	65人	53人	118人
津田図書館	12回	84人	53人	137人
大沼図書館	12回	114人	106人	220人
合計	96回	812人	742人	1,554人

(5) 夏休みおすすめ本リストの作成・配布（市内全小中学校対象）

図書館が作成した小学生向き、中学生向き「おすすめ本」紹介リストを市内の小中学校の児童・生徒に配布しました。リスト掲載の資料は、夏休みの期間中、別置き（小学生向き1,341冊、中学生向き391冊）、貸出を行いました。

(6) 学校課題図書及び夏休み図書館推薦図書の別置

各図書館が担当する地域の小中学校から課題図書リストをいただき、夏休み期間中は、児童コーナーに図書を別置して貸出を行いました。

(7) 乳幼児に対する推薦図書リストの配布及び読み聞かせの実践

- ① 健康センターの3～4か月児健診時、児童担当職員1～2人が待ち時間等を利用して、絵本の紹介や絵本リスト「よんでよんでの絵本みーつけた」の配布を行っています。
- ② 来場している赤ちゃんや兄弟姉妹に読み聞かせの実演をしたり、図書館行事「絵本のへや」の紹介をするなど、幼いころから本に親しむことの大切さを呼びかけています。今年度は3,132人の親子に実施しました。
- ③ 今年度、多摩・島しょ子ども体験塾事業の一環としてカラー版乳幼児向けブックリスト「えほんだいすき♪ ～こどもと読む年齢別リスト～」を作成しました。

(8) 子ども文庫への図書団体貸出

小平市子ども文庫連絡協議会の子ども文庫に平成19年度は新たに60冊の児童図書の貸出を行い、文庫の総蔵書数は現在5,635冊となっています。今年度は、市内の5つの子ども文庫で延べ921人の子どもに合計1,814冊の図書を貸出しました。

## 10 小中学校との連携促進

(1) 図書館見学・職場体験学習の受入れ

市内の小学校3年生の図書館見学を受け入れ、今年度は16校の41学級1,327人の児童が参加しました。

中央・仲町・花小金井・喜平・津田・大沼の6館の図書館で小学校2校8人、中学校15校の51人の職場体験を受け入れ、図書館のカウンターサービスなどを実際に体験してもらいました。

(2) 学級文庫への図書団体貸出・読み聞かせ等への支援

① 学級文庫への図書団体貸出

対象：市内の子ども文庫、市内の小中学校、小平市立学童クラブ、その他読書に関する団体で、教育委員会が認めるもの

選本：申請者が選本。各団体50冊以内。

期間：3か月＝学期単位

方法：学年が3クラス以上の場合は、1学期ごとにクラスごとに入れ替え、3学期末に返却。

今年度は、小学校19校へ12,857冊の図書の貸出がありました。

② 読み聞かせ等への支援

「デリバリーこだいら」として、小平第十三小学校で読み聞かせ等の講座を行いました。

(3) 学校図書館との連携の強化

年1回、市内小中学校の図書館担当教諭との連絡会議を開催し、意見交換、情報交換の場として、相互理解・協力体制を深めています。

(4) 学校が進める総合的な学習及び教科の学習支援

調べ学習用に図書館が図書の貸出を行っています。今年度は小学校16校へ3,139冊、中学校3校へ411冊の図書を、学校図書館支援センター推進事業による「学校図書館図書配送システム」を利用して貸出しました。

(5) 学校図書館相談嘱託員の巡回

平成18年度から図書館に学校図書館相談員2人を配置し、小中学校を巡回して学校図書館を支援しています。相談内容は、学校図書館システムの操作、図書の排架・整理、図書館活動などで、平成19年度は延べ251回巡回しました。

(6) 学校図書館支援センター推進事業の実施（平成18年度から3年間）

本事業は、文部科学省の委託事業として、平成18年11月に開始し、学校図書館協力員を全中学校に配置し、平成19年1月からは学校図書館配送システムの試行を行いました。

平成19年度は学校図書館協力員を公募し、市内全中学校に配置して、引き続き図書配送システムの試行を行いました。

① 事業の目的

学校教育の質の向上に向けた学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、学校図書館支援センターによる学校図書館の活用・運営への支援の在り方について、実践的な調査研究を行いました。

② 事業の主な内容

学校図書館の活用を図るために図書館協力員を市内全中学校に配置し、生徒の読書活動を支援しました。

図書館を活用した調べ学習や教科の学習を支援するための効果的な物流の在り方を検討し、図書の相互貸借実施のための調査研究を行いました。平成19年度の配送事業は全30回実施し、4,712冊の集配冊数がありました。

学校図書館の機能を活用した学習指導や読書活動に係る調査研究を行いました。

学校図書館利用の手引きとして、「学校図書館利用ガイドブック～豊かな読書活動を進めるために～」を作成し、市内全小中学校の全教諭を対象に配布しました。

## 11 障がい者・高齢者サービス

障がい者サービスは、小川西町図書館を中心館として位置づけ、中央図書館では著作権の許諾や対面朗読室の対応等を担当しています。

ボランティアの朗読サークル4団体、点訳サークル2団体、拡大写本・布の絵本のサークル1団体、小平市社会福祉協議会などと連携をとり、図書館利用に障がいのある人へのサービスを行っています。

(1) 大活字本127冊、カセット40点、CD183点を購入しました。

(2) 中央図書館では子ども読書月間に布の絵本の展示、小川西町図書館では点訳絵本の展示を行い、PRの促進を図りました。

(3) 録音図書（カセットテープ）の作成及び貸出

今年度、新たな朗読テープの作成はなく、所蔵点数は、197タイトル1,130巻です。

録音図書の貸出依頼は、国内の図書館から3件あり、郵送貸出をしました。

障がい者及び高齢者に対し、前年度に引き続き録音図書とは別にカセットテープの貸出（1人5タイトル、10巻まで）を実施しました。

(4) 視覚障がい者へ個人郵送貸出を行いました。

- ・ 録音図書 374タイトル（2,024巻）
- ・ 図書資料 3点

- ・ デージー図書（※） 68 点
- ・ 点字資料 122 点

(5) 障がい者の方への行事として、福祉講演会は小川西町図書館で、11月25日に「布絵本・やさしさの世界」と題して行われ、42人の参加があり、障がいのある児童・生徒に対する読み聞かせは、見学時等に随時実施しました。

(6) 障がい者宅配サービスについては、研究課題としました。

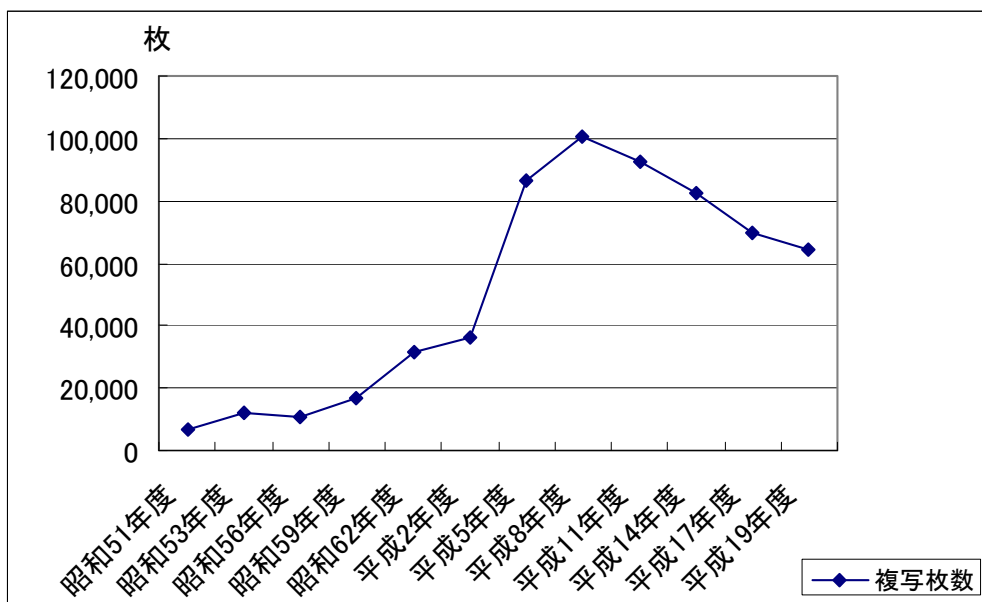
(7) 平成20年3月には、毎年1回行っている交流会を開催し、障がい者、図書館、社会福祉協議会、ボランティア団体、小平図書館友の会等と、対面朗読の図書館での実施などについて意見交換を行いました。

(※) デージー (DAISY) 図書とは Digital Accessible Information System の略で、視覚障がい者用世界標準規格に基づいて CD-ROM で作成された録音図書のことです。CD-ROM 形式のため、再生には専用プレーヤーか Windows パソコンが必要です。

## 12 複写サービス

小平市立図書館では昭和51年度から複写サービスを開始しましたが、中央図書館が開館する前年度の昭和59年度までは2万枚未満で微増傾向でしたが、平成2年度から8年度にかけては急激な伸びを示し、平成8年度には10万枚を超えています。それ以降は減少の一途をたどっており、インターネットの普及等、情報化時代を反映した傾向が現れています。平成19年度の複写枚数は64,121枚でした。

【図6】 複写サービスの推移



## 13 リクエストサービス

### (1) 所蔵資料の利用予約（貸出予約）

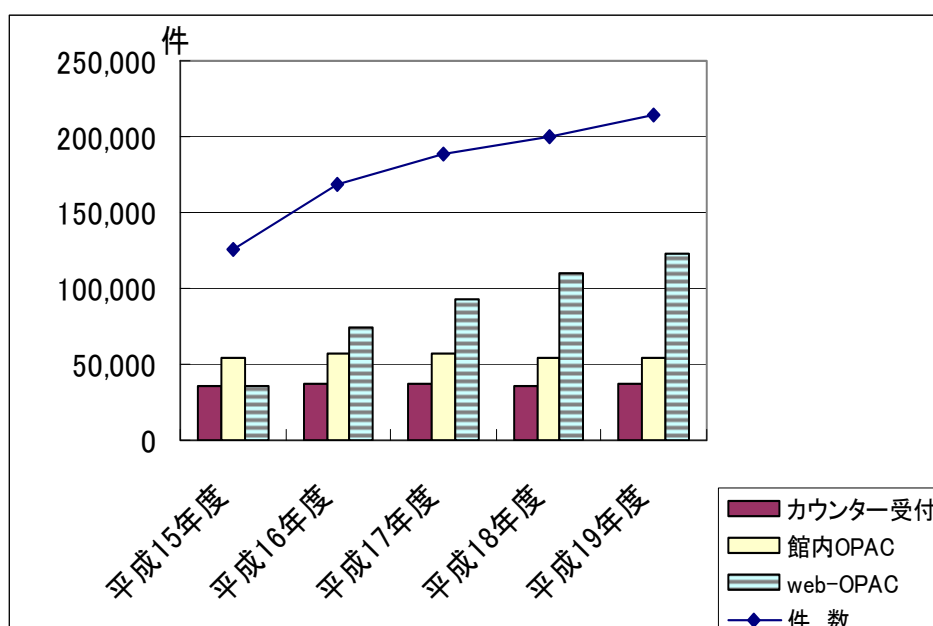
利用者の求める図書資料を提供するリクエストサービスは、平成15年度から Web 予約、全

件予約を開始したことにより、飛躍的に増加しました。伸び率は落ち着いてきましたが、Web-OPACでの予約は伸び続けています。

【表 18】リクエスト件数の推移

年 度	カウンター受付	館内 OPAC	Web-OPAC	総件数	前年度比
平成 15 年度	35,402 件	54,672 件	35,100 件	125,174 件	184%
平成 16 年度	36,827 件	57,651 件	73,886 件	168,364 件	134%
平成 17 年度	36,871 件	57,590 件	93,412 件	187,873 件	112%
平成 18 年度	36,005 件	54,897 件	109,299 件	200,201 件	107%
平成 19 年度	37,658 件	54,463 件	122,419 件	214,540 件	107%

【図 7】 リクエスト件数の推移



(2) 未所蔵図書を購入（リクエスト購入）

利用者の求めに応じたリクエストとして、2,071 冊の資料を購入しました。

(3) 相互利用による資料の貸借の促進

未所蔵資料のリクエスト対応として、都立図書館から 2,659 冊、多摩六都（※）から 1,217 冊、その他の市区町村から 1,531 冊、国会図書館から 4 冊の計 5,411 冊を借用しました。また、相互協力として、多摩六都に 2,602 冊、その他の市区町村に 3,050 冊の計 5,652 冊の資料を貸出しました。

（※）多摩六都とは、多摩北部の 5 つの自治体（小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市）で構成する多摩北部都市広域行政圏協議会のことです。

1 4 広域利用の実績

(1) 都立図書館及び多摩地域公立図書館との相互貸借の推進



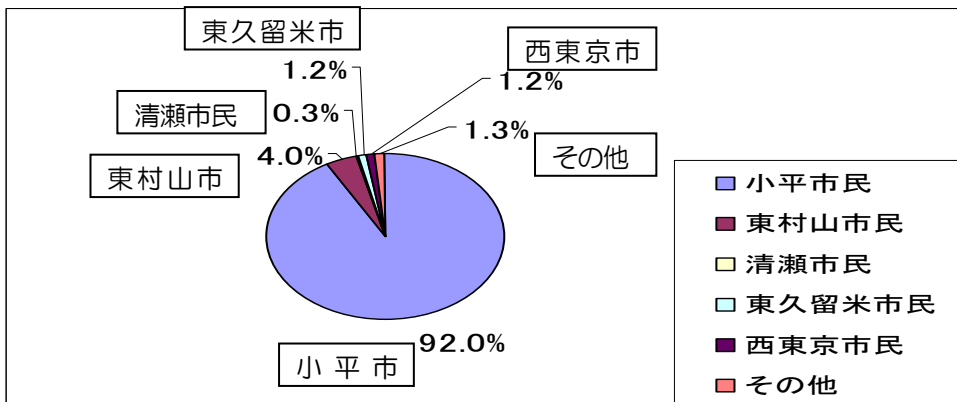
【表 19】 相互貸借の実績

年 度	貸借	都立図書館	多摩六都	その他	合計冊数	前年比
平成 17 年度	貸出	0 冊	2,428 冊	1,612 冊	4,040 冊	6.4%
	借用	2,484 冊	1,032 冊	1,252 冊	4,768 冊	△4.2%
平成 18 年度	貸出	0 冊	2,286 冊	2,433 冊	4,719 冊	16.8%
	借用	2,663 冊	953 冊	1,372 冊	4,988 冊	4.6%
平成 19 年度	貸出	0 冊	2,602 冊	3,050 冊	5,652 冊	19.8%
	借用	2,659 冊	1,217 冊	1,535 冊	5,411 冊	8.5%

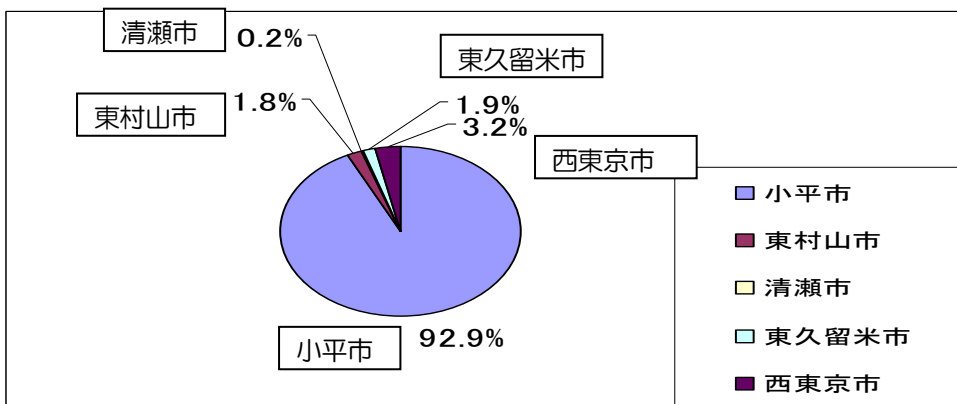
相互貸借は、前年度に比べ、貸出は 19.8%、借用は 8.5%増加しています。都立図書館のホームページの「東京都公立図書館横断検索」によって、都内図書館蔵書約 3,800 万冊を簡単に検索でき、予約もできるため、区部との相互貸借も増加しています。

また、多摩六都の平成 19 年度広域利用状況は図 9 及び図 10 のとおりです。小平市立図書館の貸出資料数を見ると、小平市民の利用が 92.0%を占めています。広域利用として小平市立図書館の利用は、小平市に隣接している東村山市民が 4.0%、東久留米市民が 1.2%、西東京市民が 1.2%で、隣接していない清瀬市民は 0.3%です。これに対し小平市民の広域利用は、小平市に隣接している東村山市が 1.8%、東久留米市が 1.9%、西東京市が 3.2%で、隣接していない清瀬市は 0.2%です。このことから、隣接市の図書館を相互に利用しており、広域利用が一定の効果を上げています。

【図 8】 小平市立図書館の広域利用状況



【図 9】 小平市民の広域利用状況



(2) 都立図書館とのインターネットによる図書資料情報ネットワークの推進

都立図書館のホームページでは図書館関係の多様な情報が提供されており、蔵書検索や東京都

の図書館横断検索を始めレファレンス申込みやレファレンス事例のデータベース、雑誌記事索引、図書館関係リンク集、法律情報・医療情報・ビジネス支援サービス等の充実した内容の情報が整備されています。

これらの情報を積極的に利用するとともに、より効率的かつ効果的な情報提供に努めるために、都立図書館の研修に積極的に参加し、担当者の連絡会議や研究会を通して図書資料情報ネットワークの推進を図りました。

### (3) 多摩六都の公立図書館との相互協力による利用サービス及び連携の推進

多摩北部都市広域行政圏協議会の図書館専門委員会において次の課題について検討し、利用サービス及び連携の推進を図りました。

#### ① 図書館の安全管理について

緊急時の連絡体制、災害時の対応、事故・病気・けがに対する処置等、圏域5市の公立図書館で実際にあった具体的な事例とその対応方法を比較検討し、適切な対策を考えるための「多摩六都図書館危機管理マニュアル」を作成しました。

#### ② レファレンス研修の実施について

多摩六都合同で実施することで、専門的な講師を招いた研修が実現でき、共通認識が得られる等の効果から、斎藤誠一氏（千葉経済短期大学准教授）を講師に招き平成19年10月5日（金）に研修会を実施しました。

#### ③ 多摩六都図書館ガイドブックについて

ガイドブック発行によるPR効果が大変効果的であることから、今年度も継続して発行し、並行してホームページ版ガイドブックの更新を進めました。

## 15 図書館関係団体に対する援助・連携

### (1) 補助金の交付

小平市子ども文庫連絡協議会に対して補助金を交付しました。（補助金 285,000 円）

### (2) 事業活動への協力

子ども文庫連絡協議会、小平図書館友の会とは相互に協力し、それぞれの特色を生かした講演会を行いました。

#### ① 子ども文庫連絡協議会

日 時：平成19年6月17日（日）

会 場：中央図書館

演 題：「希望の種まく絵本～ビルマ（ミャンマー）難民キャンプの図書館活動から～」

講 師：渡辺友理子氏

参加者：45 人

#### ② 子ども文庫連絡協議会

日 時：平成19年11月10日（土）

会 場：中央図書館

演 題：「スウェーデン児童文学のすばらしい贈り物～『ニルスのふしぎな旅』を訳して～」

講 師：菱木晃子氏

参加者：53 人

#### ③ 小平図書館友の会

日 時：平成19年6月30日（土）

会 場：中央図書館

演 題：「宮沢賢治と岩手の自然」

講 演：渡部芳紀氏

参加者：110人

## 16 図書清掃の実施

利用者に、図書を気持ちよく借りていただくため、図書館サービスの一環として、返却本のエタノール消毒を行っています。平成19年度は、下記の内容でシルバー人材センターに業務委託して実施しました。

【表20】 図書清掃（消毒）の実施状況

館 名	実施時間・曜日	
中央図書館	9時～12時	火・水・木・土
	9時～15時	月・日
仲町図書館	13時～16時	水・土
	13時～15時	月
花小金井図書館	9時～12時	火・木・土・日
小川西町図書館	13時～16時	月・水・土
喜平図書館	13時～16時	月・水・日
上宿図書館	13時～16時	月・水・土
津田図書館	13時～16時	月・水・土
大沼図書館	13時～16時	月・水・土

## 17 施設の運営管理

### (1) 各図書館・分室、東部・西部市民センターの維持管理

図書館及び東部・西部市民センターを、市民の方々が気持ちよく安全に利用していただくために、定期的に各施設や設備の点検を行いました。

この点検により、いくつかの不具合箇所が早期に発見でき、補修及び修繕を行いました。

### (2) 集会室の維持管理・貸出（喜平図書館・上宿図書館）

集会室は、市民相互の交流及び市民文化の向上を目的に設置されたものです。

平成19年度の利用は、喜平図書館で598件、上宿図書館で288件、合計で886件でした。

【表21】 集会室貸出推移

年 度	喜平図書館	上宿図書館	合 計
平成17年度	503件	265件	768件
平成18年度	510件	282件	792件
平成19年度	598件	288件	886件

### (3) 仲町図書館建て替えの検討

仲町図書館の建て替えについては、検討会議を開催して、関係各課で建て替えに伴う課題の整理を進めました。主な検討課題は、次のような項目です。

- ① 仲町公民館との施設の統合化
- ② 施設の共有と効率的な利用
- ③ 建て替えに伴う課題の整理

## 18 職員研修及び施策形成参画機会の拡充

### (1) 司書資格取得講習会への派遣（3人）

図書館職員としての専門的知識と技術を習得するため、3人の職員を派遣し、図書館職員の資質の向上を図りました。

【表22】 司書講習先及び期間

講習先	講習期間
亜細亜大学	平成19年7月21日～9月18日

### (2) 全体研修会の開催（年4回）

全館の全職員を対象に年4回（4月・7月・12月・2月）の図書館職員研修会を開催し、毎回テーマを設定して図書館事業の意義や課題について研修を深めるとともに、専門研修参加職員からの報告及び職員を講師とした専門研修を開催しました。職員一人ひとりの小平市立図書館職員としての専門性を高めました。

【表23】 職場研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成19年4月19日	接遇について リクエストサービス、相互貸借について 発注の流れ、選書、除籍について	全職員及び 嘱託職員
	〔新任職員研修〕 図書館運営と事業計画 勤務体制 レファレンスと著作権、複写サービス 図書館サービス	異動職員
平成19年7月19日	地域資料、特別文庫について 地域雑誌、タウン誌、ミニコミ誌について 地域の広告・チラシについて 障がい者サービスについて	全職員
	〔新任職員研修〕 リクエストサービス、相互貸借について 発注の流れ、選書、除籍について 資料検索について	異動職員
平成19年12月20日	「まちづくりと図書館」 （18年度新任館長研修から） 司書講習の報告 視察報告 郷土写真資料のデジタル化、教科書について 地域の新聞記事切り抜きについて	全職員
平成20年2月21日	古文書について 地域のポスター等について 市内在住著作者、地方出版物について 児童サービス、学校との連携について	全職員

### (3) 実務研修・各種研究会への参加

東京都多摩地域公立図書館大会、著作権実務講習会（文化庁）、情報サービス研修（東京都立図書館）の各種研修会に職員を派遣し、専門性の向上、職員一人ひとりの知識の向上を図りました。

### (4) 各種職場研修の実施

#### レファレンス研修

職員のレファレンス業務の理解を深めることによって、市民の課題解決の支援を図るため、基本的な検索の向上を目的とした「資料検索研修」と、信頼のおけるインターネット情報の検索に主眼をおいた「インターネット研修」を実践的な演習形式で行い、業務に有効活用できるように努めました。

【表24】レファレンス研修の内容

開催日	研修内容	対象者
平成19年7月19日	資料検索研修Ⅰ 基本検索、都立図書館の検索	中央・地区図書館職員 及び嘱託職員10人
平成19年12月20日	資料検索研修Ⅱ (Ⅰと同様)	中央・地区図書館職員 10人
平成20年2月21日	インターネット情報 国会図書館HP Webcat Plus 官公庁HP等	中央・地区図書館職員 9人

## 19 実習生及び職場体験学習等の受入れ

### (1) 図書館実習生（大学生等）の受入れ

#### ① インターンシップ制度に基づき実習生の受入れを行いました。

平成19年8月9日～8月14日 首都大学東京3人

平成19年8月7日～8月20日 創価大学2人

#### ② 司書資格取得のための図書館実習生の受入れを行いました。

平成19年8月7日～8月20日 亜細亜大学2人

### (2) 図書館見学・職場体験学習及び視察等の受入れ

#### ① 図書館見学

図書館見学は主に小学校3年生が対象で、図書館の利用方法の説明、おはなし会、図書の貸出、館内見学の内容で実施しました。

今年度の図書館見学は、小学校16校41クラスの1,327人と幼稚園1園の104人でした。

【表25】図書館見学の受入れ実績

館名	小学校数	クラス数	人数	幼稚園数	人数
中央図書館	3	7	223	1	104
仲町図書館	2	5	158		
花小金井図書館	2	6	167		
小川西町図書館	1	3	105		
喜平図書館	4	8	298		
上宿図書館	2	4	109		
大沼図書館	2	8	267		
計	16	41	1,327	1	104

## ② 職場体験

職場体験は主に中学生を対象に受け入れました。主に、カウンター業務を中心に、図書排架、図書整理等を体験し、図書館業務への理解を深めました。今年度の図書館見学は、小学校2校の8人と中学校15校の51人でした。

【表26】職場体験の受入れ実績

館名	小学校数	人数	中学校数	人数
中央図書館			5	23
仲町図書館			1	2
花小金井図書館	1	4	2	10
喜平図書館			3	6
津田図書館	1	4	2	7
大沼図書館			2	3
合計	2	8	15	51

## ③ 視察の受入れ

行政視察の受入れを行いました。

平成19年 8月21日 鳥取県米子市議会 8人 学校図書館支援について  
平成19年 9月27日 高知県立図書館 1人 郷土資料の整理、保存について  
平成19年12月19日 大阪府八尾市教育委員会 1人 学校図書館との連携等について

## 20 広報活動

### (1) 図書館だよりの発行（年2回）

これからの図書館は、情報化社会の進展にともない、地域の課題解決や地域の振興を図るための資料・情報の提供機関としての役割を担わなければなりません。また、市民の皆様との協働を様々な形で進める必要があります。「小平市図書館だより」は、平成14年11月発行の54号以降休刊していましたが、情報発信の一つとして平成18年度に再刊し、平成19年度もNo.57・No.58の2号を発行しました。

### (2) 図書館紹介、利用案内、図書館カレンダー等の作成・配布

図書館紹介・利用案内・図書館カレンダーについては、毎年見直しを行っており、平成19年度も作成、配布をしました。

なお、多摩六都で発行している多摩六都図書館ガイドブックは、今後も内容の充実を図り、発行を継続することになりました。

### (3) 新刊・新着図書案内の発行

購入等によって新しく所蔵した図書や視聴覚資料について広報するために、新着図書・資料案内を月2回中央図書館及び各地区図書館で作成し、利用に供しました。

図書館ホームページの新着案内を週1回更新しました。

### (4) 市報等の活用（「図書アラカルト」、行事等）

「図書アラカルト」は図書館に所蔵している本を、できるだけ多くの方に伝えるために、昭

和56年4月から「市報こだいら」に連載しているものです。子ども向きの本や大人向きの本3～6点、図書館員が選び、コメントを付けて紹介しています。ホームページで、昭和56年度から平成18年度までに掲載したものを公開しました。

講演会、講座等についても案内を市報に掲載しました。

(5) 図書館ホームページの整備・活用

平成18年度末に図書館ホームページを更新し、トップページの構成を一新し、どのページからでも必要なページに移動できる案内表示「グローバルナビゲーション」の導入、文字・画像サイズや色の変更及び音声読上げができる「ズームサイト」の採用などを行いました。

簡単な手直しについては、その都度実施しました。

(6) 夏休み家族一日図書館員の開催

今年で18回目の事業を、中央図書館と地区館で実施しました。

日 時 平成19年7月22日(日) 午前9時～正午

会 場 中央図書館、地区図書館(7館)

参加者 9家族(23人)

21 図書館ボランティアの参加促進

従来からの図書修理等を行う一般ボランティア及び古文書ボランティアに加えて、平成19年7月から情報ボランティアが活動を開始しました。また図書修理のボランティアからの要望で担当者とのミーティングを実施しました。

図書館ボランティア活動の実施結果は次のとおりです。

【表27】図書館ボランティア活動実績

年 度	一般ボランティア		古文書ボランティア		情報ボランティア (19年7月～)	
	日数	人	日数	人	日数	人
平成17年度	129日	436人	37日	195人		
平成18年度	92日	94人	49日	263人		
平成19年度	70日	144人	50日	277人	15日	43人

# 各地区図書館の事業の成果

## 1 仲町図書館

仲町図書館は、昭和50年5月18日に小平市図書館として開館し、昭和60年7月1日から現在の小平市立仲町図書館の名称になりました。

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」を目指して、落ち着いた雰囲気できれいに利用してもらえよう努めました。

### (1) 地域資料の収集・整理・保存事業

#### ① 収集内容

- ・雑誌（タウン誌・ミニコミ誌）
- ・地域新聞（多摩地域各市及び東京都で発行する広報紙・議会報・文化施設の発行する新聞）

#### ② 平成19年度実績

- ・タウン誌・ミニコミ誌 21 タイトル（有料のもの 12 タイトル）
- ・広報紙 30 市町村各紙（東京都含む）

#### ③ 合冊製本

過去に収集したタウン誌の製本合冊

平成19年度 11 冊（4 タイトル）

- ・荻窪百点（荻窪地域情報誌）
- ・月刊 味覚春秋（銀座・麻布味覚情報誌）
- ・THE KICHIJOJI（吉祥寺地域情報誌）
- ・東京かわら版（寄席・日本橋地域情報誌）

#### ④ 新聞切り抜き

平成17年分多摩版（朝日・毎日・読売・東京・産経）の切り抜き・製本

※所蔵は、中央図書館で行っています。

### (2) 資料を探しやすくするために、図書館内の表示・案内を整理し、わかりやすく表示することを引続き実施しました。

図書劣化したラベルの貼り替えをしました。

### (3) 児童サービス

#### ① 展示

季節に合わせて、児童書（絵本）を2階南側の棚に展示し、利用の促進とともに、子どもを中心として楽しめるよう工夫しました。

【表28】仲町図書館の年間展示テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月		10月	ハロウィンの本
5月	緑の本	11月	秋の本
6月	カエルと雨と傘の本	12月	クリスマスの本
7月	七夕と星の本	1月	お正月とねずみの本
8月	虫と昆虫の本	2月	冬と雪の本
9月	十五夜と月とウサギの本	3月	春と花の本

※4月は、“こだいら子ども読書月間 アジアの昔話”の本を展示しました。



## ② 学校へのPR

担当小学校である小平第二小学校・小平第十四小学校には、上記の季節の本のお知らせや仲町図書館のおはなし会の実施日を記したカレンダーを配布し、利用の促進を図りました。

## ③ 児童図書の蔵書管理

- ・紙芝居のケースの劣化に伴い、ケースの入替えをしました。
- ・劣化・色落ちしたラベルの貼り替えをしました。

## 2 花小金井図書館

花小金井図書館は平成17年度の移転事業を経て、平成18年5月8日にリニューアルオープンし、新館になって2年が経ちました。

施設は、屋上緑化、太陽光発電、風力発電など環境に十分配慮した特徴を持ち、断熱効果やエネルギー節減により温室効果ガス削減を目指しています。また、雨水貯留槽を設置し、トイレの洗浄水に使用しています。さらに2階、3階のテラスに読書スペースを設け、屋外という自然の中で読書が楽しめる他、おはなし会が行われない日は、おはなし室を読書室として開放しています。

リニューアルオープン以来、利用は増え続け、平成19年度の貸出資料数は240,327点で前年度に比べ約32,000点の増となりました。

### (1) リーフレット収集事業

リーフレット収集事業では、スーパーのチラシや求人広告など小平市内の宅配新聞の中に折り込まれているチラシを32の件名に分類し、約2,000枚を収集しました。今後は分類別に分けたチラシを10分冊に製本し保存します。

この製本されたリーフレット資料が図書館に所蔵されていることを市民にPRする目的で、2回の展示を行いました。具体的には、「ちらして見る小平の今と昔」というタイトルで第1回(6月21日～7月18日)が花小金井・中央・小川西町図書館、第2回(2月23日～3月19日)が花小金井・喜平・上宿図書館で実施し、家電製品や土地価格の変遷などの地域情報を発信することができました。今後も地域研究に活用が期待できる専門的な資料として、その存在をPRしていきます。

### (2) ビジネス支援コーナーの設置

平成20年3月にビジネス支援コーナー『ワクワクwork』を設置しました。仕事や起業に関する図書資料の提供、パンフレットの配布、資格ガイドの紹介、求人広告の展示等を行っています。また、産業振興課から中小企業庁支援事業やハローワーク等のパンフレットを提供してもらうなど、情報交換を密にして連携を図りました。

今後はこのコーナーを広く周知し、市民の活用を図るため広報を積極的に進めていきます。

### (3) 児童サービスにおける小中学校との連携

#### ① 特別団体貸出

総合学習、調べ学習等の学習用として、今年度は小学校3校、中学校1校へ851冊の図書の貸出を行いました。

#### ② ブックトークの実演

今年度は学校へ職員が出向き、2回のブックトークを行いました。

平成19年9月26日 花小金井南中学校

対象：図書委員 テーマ：「映画と本の熱い関係」

平成19年10月31日 小平第五小学校

対象：4年生3クラス(計3回) テーマ：「視覚障害」

### 3 小川西町図書館

平成19年度は地域の図書館として利用者に分かりやすい表示やレイアウトに心がけ図書館資料の利用の促進と学習の場の提供に努めました。

また、小川西町図書館は障がい者サービス中心館として研究を進め、障がい者理解を推進し、事業を実践しました。

#### (1) 展示会等の開催

館内の展示ケース及び展示コーナーを活用し、視力に障がいのある人のための点字図書や障がいのある子どものための布の絵本・布の遊具などの展示を年間を通じて行いました。

#### (2) 障がい者サービス

視力に障がいのある人に対し録音図書・点字図書・点訳絵本の貸出や障がいのある子どもやグループに対し、布の絵本・布の遊具の貸出を行いました。

視力に障がいのある人に対する録音図書の貸出については、郵送によるサービスの推進を図りました。

また、毎年度、障がい者や高齢者の利用の促進を図るための福祉講演会を開催しています。本年度は、すずらん文庫主宰 渡辺順子氏による「布絵本・やさしさの世界」の演題での講演会を行い42人の参加がありました。

【表29】 郵送貸出の推移

年 度		貸出人数			貸出タイトル数			カセット巻数		
		17	18	19	17	18	19	17	18	19
録音 資料	個人貸出	22	22	27	503	425	442	2,146	1,953	2,024
	公共図書館貸出	10	8	3	17	18	3	99	107	20
図書資料		1	1	0	6	3	0	6	3	0
点字資料		1	4	4	129	129	122	129	149	122
合 計		34	35	34	655	575	567	2,380	2,212	2,166
郵送貸出登録者数		47	51	50						

### 4 喜平図書館

昭和56年6月27日に開館した喜平図書館は、小平団地の東南の角にあり、明るい環境の中で地域利用者が気軽に利用できる図書館です。

#### (1) 教科書

小中学校用教科書は、開架フロアーに表30-1・2を展示し、貸出・閲覧を行っています。

なお、平成19年度の小学校教科書の貸出数は138冊、中学校教科書の貸出数は29冊でした。

【表30-1】 小学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数
国 語	5	60	音 楽	3	18
書 写	5	30	図画工作	3	18
社 会	5	30	家 庭	2	2
地 図	2	2	保 健	5	10
算 数	6	66	合 計	種	点
理 科	5	32		50	286
生 活	9	18	(16社)		

【表30—2】中学校教科書の所蔵点数

種 目	種類数	点 数	種 目	種類数	点 数
国 語	5	15	美 術	3	9
書 写	6	12	保健体育	3	3
社 会	8	24	技術・家庭	2	4
数 学	7	21	英 語	6	18
理 科	5	20	合 計	種	点
音 楽	2	8		47	134
(16社)					

(2) 郷土写真資料

郷土写真資料の収集保存事業は、主に収集、保存、利用、広報の4つの要素から成立し、それぞれの事業が有機的に連動しながら実施されています。

① 写真資料のデジタル化

平成14年度から写真資料をデジタル化するため、シルバー人材センターに委託し、データ入力しています。平成19年度は、3,043件をデータ入力しました。

② 郷土写真展

テーマを「風致地区」(※)とし実施しました。(上宿図書館との共同事業)

期 間 平成20年2月2日から3月6日(中央図書館及び各館同時に)

内 容 飯山達雄氏寄贈の昭和30年代に撮影した航空写真と風致地区の青梅街道沿いの写真、及び図書館の職員が定点撮影として昭和50年代から平成15年までの時代の変化を風致地区中心に撮影した写真の中から選定し展示しました。

(※) 風致地区とは、都市の風致(樹林地、水辺地などで構成された良好な自然的景観)を維持するため、都市計画法により都市計画で定められる地区です。小平市では、玉川上水・青梅街道・鈴木街道・東京街道の4地区が指定されています。

(3) 児童サービス

① 幼児コーナー展示

【表31】喜平図書館の幼児コーナーの年間展示テーマ

月	テーマ	月	テーマ
4月	春の本	10月	まほうの本
5月	お母さんの本	11月	食べ物の本
6月	雨の本	12月	クリスマスの本
7月	空の本	1月	雪の本
8月	おばけの本	2月	おにの本
9月	じいじとばあばの本	3月	犬とねこの本

② 小学校との連携

・授業支援

11月8日(木)小平第三小学校4学年に「戦争と平和の本」のブックトークを行いました。

- ・ボランティア支援

11月14日(水)喜平図書館集会室で、学校図書館ボランティアにスキルアップ講座(「ブックトークをやってみよう」)を行いました。(参加者21人)

- ・担当校である小平第三小学校、小平第九小学校、鈴木小学校へ、おたのしみ会やおはなし会の日程の載っているポスターを送り、利用の促進に努めました。

③ 広報

以下のチラシをカウンターに置き、利用促進に努めました。

- ・子どもカレンダー・・・図書館開館日とおはなし会の日程を掲載
- ・おはなし会のしおり・・・初めて参加する保護者向け案内
- ・おはなし会年間日程
- ・絵本のへや年間日程
- ・絵本のへやで人気のあった絵本リスト

(4) 集会室

- ① 集会室は、市民相互の交流並びに市民文化の向上を目的に設置されたものです。  
平成19年度の利用状況は、有料・免除団体を含めて延べ72団体7,632人が利用しました。
- ② 平成20年3月末現在の登録団体は128団体です。  
集会室の利用内訳は、次の表のとおりです。

【表32】喜平図書館・上宿図書館の集会室利用状況

部屋名	図書館名	午前	午後	夜間	合計
第1集会室	喜平図書館	95件	71件	28件	194件
	上宿図書館	61件	69件	10件	140件
第2集会室	喜平図書館	116件	76件	32件	224件
	上宿図書館	31件	53件	16件	100件
和室	喜平図書館	123件	40件	17件	180件
	上宿図書館	15件	18件	15件	48件
合計	喜平図書館	334件	187件	77件	598件
	上宿図書館	107件	140件	41件	288件

5 上宿図書館

上宿図書館は昭和57年6月26日に開館しました。図書以外の資料収集としては、次の事業を実施しました。

(1) 小平市に関する新聞記事切り抜き

平成18年度分として、原紙5分冊、複写2分冊(2セット)を製本しました。

昭和55年4月から朝日、産経、東京、毎日、日経、読売の各紙について切り抜き整理・保存しています。

(2) 郷土写真資料

① 郷土写真資料の撮影保存

市内214か所(秘書広報課から寄託された写真)のポイントを撮影しました。

秘書広報課(広報広聴課)から寄託された昭和57年撮影のポイント写真520か所626枚に

ついて5年計画（平成18年度から22年度）で撮影をします。

図書館撮影の定点写真は昭和56年度から平成15年度までの210か所を保存しています。平成16年度・17年度は96か所を保存しています。

② 郷土写真展「風致地区」を行ないました。（喜平図書館と共同事業）

期間：平成20年2月2日から3月6日（中央、各地区館同時に展示）

内容：小平市は、玉川上水・青梅街道・鈴木街道・東京街道の4地区が風致地区に指定されています。昭和30年代の航空写真、昭和53年頃の風景、平成15年の定点撮影写真を展示し街道の変化をご覧いただきました。

### （3）集会室

平成19年度の利用状況は、有料・無料団体を含めて延べ288団体2,529人が利用しました。

平成20年3月末現在で登録団体は36団体です。

集会室の利用内訳は、【表32】のとおりです。

## 6 津田図書館

津田図書館は、ポスター等事業の収集分担館として、小平市内で発生したもののほか、小平市の行政や市民生活に関係する外部から送付されたものを含めて、昭和62年7月4日の開館以来、これらの資料を組織的に収集・整理・保存しており、その実績は次のとおりです。

【表33】ポスター等収集実績一覧

年 度	受入点数	年 度	受入点数	年 度	受入点数
昭和62年度	169	平成9年度	358	平成19年度	451
昭和63年度	255	平成10年度	201	合 計	4,706
平成元年度	105	平成11年度	216		
平成2年度	58	平成12年度	227		
平成3年度	79	平成13年度	178		
平成4年度	160	平成14年度	152		
平成5年度	196	平成15年度	290		
平成6年度	127	平成16年度	360		
平成7年度	207	平成17年度	366		
平成8年度	162	平成18年度	389		

## 7 大沼図書館

平成13年1月9日に開館した大沼図書館は、市民の暮らしに役立ち、身近で気軽に利用でき、親しみの持てる図書館として、事業・行事によるPRを通じ、図書館への関心を高め、利用の促進を図りました。

主な事業としては、全国各地の1月1日発行の主要地方新聞を集めた「ふるさとの新聞元旦号展」を、平成20年1月19日（土）から24日あ（木）まで開催しました。（協力63紙）

児童書と一般図書それぞれ毎月テーマを決めて、テーマに関する本を別置して展示し、利用の促進を図りました。

地域にある施設として、六中地域ネットワーク会議（地域の子どもを地域で見守り、健全に育てる目的で、地域の学校、関係機関により立ち上げた組織。年間5回）に大沼公民館とともに出席し、図書館の事業のPR、地域の子どもの健全育成に関する情報交換を行いました。

【表34】大沼図書館の年間展示テーマ

	児 童 書	一 般 書
月	テーマ	テーマ
4月	1年生の本、学校の本	児童読書月間（おはなし会で人気のあった本）
5月	お母さんの本、犬の本	ちょっと楽しいベランダ果樹園
6月	お父さんの本、みどりの本	笑い
7月	雨の本、雷の本	中学生向け夏休みおすすめ本
8月	夏の本、旅行の本、戦争の本	
9月	おじいさん・おばあさんの本	私の楽園
10月	たのしい本	各地に残る話を集めて
11月	音楽・美術の本	
12月	クリスマスの本	
1月	干支の本、お正月の本	詩とメルヘン
2月	雪の本、冬の本、鬼の本	なぞなぞ 副題：頭にも春風を
3月	春の本、花の本、ひな祭りの本	

# 参 考 資 料

資料1 平成19年度小平市立図書館事業統計（平成20年3月31日現在）

資料2 小平市子ども文庫連絡協議会事業報告（平成19年度）